

2020年度 公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告

通常総会

月 日	場 所	議 題
1. 31	長岡京市中央生涯学習センター 6階 創作室1	1. 2019年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 事業報告書（案）に関する件 2. 2019年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 収支決算書（案）に関する件 3. 2020年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 第2次収支予算書（案）に関する件

一般 2名 出席人数 34名 委任状提出者 14名
欠席者 1名

第1回臨時総会

月 日	場 所	議 題
10. 2	長岡京市中央生涯学習センター 2階 市民ギャラリー	1. 2021年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 役員選任（案）に関する件

一般 0名 出席人数 31名 委任状提出者 17名
欠席者 1名

第2回臨時総会

月 日	場 所	議 題
12. 4	長岡京市中央生涯学習センター 2階 市民ギャラリー	1. 2020年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 正会員除名（案）に関する件 2. 2021年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 組織図（案）に関する件 3. 2021年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 事業計画（案）に関する件 4. 2021年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 正副・委員会 活動計画（案）に関する件 5. 2021年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 諸登録料（案）に関する件

		6. 2021 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 第 1 次収支予算書（案）に関する件
--	--	---

一般 0名 出席人数 32名 委任状提出者 18名
欠席者 1名

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年 2月15日
------------	------	-----	-----	-------------

会議・委員会	信賴構築委員会	議長・委員長	佐伯 昌裕
事業名	1月例会・新春交歓会		
実施日時	2020年 1月 8日		
実施場所	(会場)ハイアット・リージェンシー京都 1階 ポールルーム 1月例会 ポールルームⅠ 新春交歓会 ポールルームⅡ (所在地)京都市東山区三十三間堂廻り644番地2 (TEL) 075-541-1234		

事業目的	【対外】 ・1月例会 本年度、理事長の掲げるスローガン「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」の想いや乙訓青年会議所の方向性、活動内容を理解して頂くことを目的とする。 ・新春交歓会 乙訓青年会議所メンバーと参加者との信賴関係をさらに深め、今後の乙訓青年会議所の運動にご協力して頂ける関係性を構築することを目的とする。 【対内】 ・1月例会 本年度の乙訓青年会議所の方向性や理事長の掲げるスローガン「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」の想いや活動内容を理解したうえで、2020年度のスタートを切れるように、メンバー全員が全力で取り組み一丸となることを目的とする。 ・新春交歓会 地元行政、特別会員、他LOMの方に今後の運動へのご理解、ご協力とメンバーと参加者とさらなる信賴構築になることを目的とする。
------	--

事業の内容	(1月例会) 理事長挨拶 ・達城理事長に年頭のご挨拶を頂き、スローガン「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」の想いと一年間の方向性を述べて頂きます。 直前理事長挨拶 ・三浦直前理事長 スポンサーJC挨拶 ・京都青年会議所 足立 五郎 理事長 京都ブロック協議会会長挨拶 ・京都ブロック協議会 榎田 啓 会長 (新春交歓会) オープニング映像上映 開会宣言 正副メンバー登場 ・正副メンバー登壇 理事長挨拶 ・達城理事長 来賓紹介 ・藤田副理事長 来賓挨拶 ・ご来賓名(京都府山城広域振興局 副局長 山本 哲司 様) ・ご来賓名(大山崎町 町長 前川 光 様) 乾杯 ・飛竹会会長(山口 勲 会長) 食事歓談 アトラクション(信賴構築委員会・各委員長) 委員会紹介 ・委員会ソングを流しながら、委員会ごとに登壇して頂き、委員会メンバーの紹介をして、一年間の抱負を述べて頂く 食事歓談 乙訓青年会議所出向者紹介 ・出向者全員登壇(河内委員 一言) 謝辞 ・藤田副理事長 来賓退出 若い我等斉唱 一本締め 坂元専務理事
-------	--

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【1月例会】</p> <p>① 達城理事長からのご挨拶により、参加頂いた方に2020年度の乙訓青年会議所の方向性を理解して頂くことができた。</p> <p>② 2020年度のスタートとして、厳粛に例会を進行することで、メンバーが青年会議所運動に対する意識の高揚を図ることができた。また、参加者の方々には、メンバー全員が全力で取り組み一丸となり2020年度の活動に取り組む姿勢と、乙訓青年会議所の一体感を感じて頂くことができた。</p> <p>【新春交歓会】</p> <p>① 乙訓青年会議所の歴史や活動風景を取り入れ、本年度のスローガン「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」に結び付けるオープニング映像を流すことで、乙訓青年会議所の歴史を感じ、メンバーの活動意欲を喚起し、2020年度のスタートを一枚岩となって切る事ができた。</p> <p>② 来訪JCの皆様をお迎えして2020年度の乙訓青年会議所の一年間の方向性をご理解して頂くことで、相互の協力関係を親密にし、また出向に関して互いの意識向上を図ることができた。</p> <p>③ 壇上にて委員会紹介を行ったことで、参加頂いた方々に乙訓青年会議所の委員会を知って頂き、各委員会の活動を理解して頂くことができた。また、各委員長より本年度の意気込みを述べて頂いたことで、委員会メンバーも身が引き締まる思いで一年間のスタートを切る事ができた。</p> <p>④ 地元行政、特別会員、他LOMの方をお招きし、名刺交換やお話をする事で親睦が深まり、乙訓青年会議所の運動を理解して頂き、今後の活動に繋げることができた。</p>				
	達目的になかった点	なし				
今後の展望	単年度制で活動している組織として、1月例会・新春交歓会を毎年開催される惰性的な事業ではなく、一年間限りの理事長のもとで、来訪された皆様に対し、本年度の意気込みを示すことができる一期一会の機会として来訪された皆様に示す機会として取り組む。					
参加動員数	計画	一般	107名/130名	結果	一般	95名/133名
		JC会員	47名/47名		JC会員	37名/39名
		合計	154名/177名		合計	132名/172名
予算	内部事業資金	¥330,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥330,000
決算	内部事業資金	¥328,542	外部導入資金	¥0	決算合計	¥328,542

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年 4月11日
会議・委員会	魅力拡大委員会		議長・委員長	佐々木 彰吾
事業名	2月例会			
実施日時	2020年 2月13日			
実施場所	(会 場) 長岡京市立中央公民館 3階 市民ホール (所在地) 京都府長岡京市天神4丁目1-1 (TEL) 075-951-1278			
事業目的	<p>【対内】 乙訓青年会議所の現状を全メンバーと共有する機会を創出するとともに、新たな会員拡大手法を取り入れ、乙訓青年会議所一人ひとりが、全員全力で会員拡大を行って頂くことを目的とする。</p>			
事業の内容	<p>【委員長趣旨説明】 ①魅力拡大委員会がこの例会を構成するに至った経緯と例会に対する想いを伝える。</p> <p>【第1部】 テーマ:「会員拡大を成功に導ける理想の組織」～会員拡大成功のために～ (講師) ①講師の拡大の経験談を理事長と拡大担当を交えてお話して頂く。 ②会員拡大によるメンバーのメリットと学びをメンバーに伝えて頂く。 ③組織が一丸となり会員拡大に取り組んだことにより枚方青年会議所がどう変わったかをお話して頂く。 ④同世代の若者に魅力を伝える手法をお話して頂く。 ⑤会員拡大は究極の地域貢献活動といわれることへの講師の持論を伝えて頂く。 (理事長) ①講師の経験談を聞き理事長が感じた想いを伝えて頂く。 ②現状の乙訓青年会議所が直面している問題点をメンバーに伝えて頂く。 ③乙訓青年会議所が会員拡大に成功し、今後どのような組織にしていきたいかメンバーに伝えて頂く。 ④講師の拡大手法を聞き乙訓青年会議所としての拡大活動の方向性を伝えて頂く。 ⑤理事長から正副全体での拡大人数を宣言して頂き、メンバーの士気を高めて頂きます。 (コーディネーター) ①拡大担当委員長として登壇し、2人の話を円滑に回す。 ②拡大委員会が組織での位置付けをメンバーへ伝える。 ③拡大担当委員会としての拡大目標を宣言する。</p> <p>【第2部】 テーマ:「各委員長の宣言！」～有言実行！京都で拡大達成率トップLOMIになるために！～ ①コーディネーターよりテーマ(i)説明。(拡大助言) ②各委員長より、自身と委員会メンバーの職業を講師に伝え、各委員会に拡大の助言をして頂く。 ③乙訓青年会議所を京都で1番の拡大率達成LOMIにするために、各委員会への拡大助言をして頂く。 ④コーディネーターよりテーマ(ii)説明。(拡大の先に) ⑤拡大の先に目標をたてる必要性を伝えて頂く。 ⑥会員拡大すれば自身の委員会がどのような事業ができるか各委員会メンバーに伝えて頂く。 ④コーディネーターよりテーマ(iii)説明。(宣言) ⑦各委員長より各委員会の拡大目標人数を宣言して頂きます。 ⑧最後に全メンバーを鼓舞して頂く。</p> <p>【委員会まとめ】 ①組織が一丸となり会員拡大に取り組むことが必要不可欠であることを伝える。 ②講師から学び、会員拡大の仕組みを構築することの重要性を伝える。 ③魅力拡大委員会が会員拡大に対しての具体的な活動を伝え、各委員会へのフォローアップ手法を伝える。 ④京都で一番を目指す当委員会の会員拡大への情熱と気概を宣言する。</p>			

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【委員長趣旨説明】</p> <p>①冒頭で本例会を構成するに至った経緯と例会に対する想いを伝えたことにより、事業目的達成の一助となった。</p> <p>第1部【理事長と講師による対談】</p> <p>①理事長と講師に登壇して頂き、対談して頂いたことで組織として拡大が重要な問題だとメンバーに伝わり、拡大意識の醸成へと繋がった。</p> <p>②理事長と講師による対談で拡大の重要性和組織が一丸となり会員拡大に取り組んだ先の話聞き、メンバー一人ひとりが能動的な行動を起こす一助となった。</p> <p>③理事長に今後の拡大に関する組織の方向性を伝えて頂いたことで、組織が一丸となり「全員全力」の気概をもって頂けた。</p> <p>第2部【パネルディスカッション】</p> <p>①各委員長より講師へ各委員会メンバーの職業を伝えたいという対話したことにより、各委員会メンバーが具体的な会員拡大を行うイメージ構築の一助となった。</p> <p>②講師を交え、委員会の可能性を話し合ってもらい、各委員会メンバーが自身の委員会がもつ可能性を知ることで、会員拡大に賛同してもらい一助となった。</p> <p>③各委員長より各委員会の拡大人数目標を宣言して頂くことで、委員会単位での拡大意識の醸成に繋がった。</p> <p>【委員会まとめ】</p> <p>①本事業を受け、主体者意識をもって頂くことの重要性を伝えることで、魅力拡大委員会だけでは組織の現状は変わらないと理解して頂き、会員拡大への協力を繋がった。</p>				
	達目的になかった点	<p>第1部【理事長と講師による対談】</p> <p>①理事長と講師による対談で「会員拡大と自社の発展との関連性」において、対談でのテーマとして話せなかったため、拡大活動を自身の仕事に置き換えることで社業を拡大させられる一助となることを理解して頂くには至りませんでした。</p> <p>【委員会まとめ】</p> <p>①魅力拡大委員会として紹介者へのバックアップ体制をしっかりと伝える内容が不足していたため、魅力拡大委員会としての担いを全メンバーと共有することができず、委員会の役割を全メンバーに共感して頂くに至りませんでした。今後の拡大活動にて拡大委員会としての担いを全メンバーと共有していこうと考えます。</p>				
今後の展望	<p>会員拡大は組織を継続していく上でも必要不可欠なので、今後も継続して毎年拡大例会を開催していきたいと考えています。</p>					
参加動員数	計画	一般	1名	結果	一般	0名
		JC会員	47名		JC会員	35名
		合計	48名		合計	35名
予算	内部事業資金	¥27,229	外部導入資金	¥0	予算合計	¥27,229
決算	内部事業資金	¥27,229	外部導入資金	¥0	決算合計	¥27,229

2020年度事業報告		事業区分	その他	作成日	2020年4月11日	
会議・委員会		人財育成委員会		議長	下戸 一晃	
事業名		3月例会				
実施日時		コロナウイルス感染拡大のため中止				
実施場所		なし				
事業目的		なし				
事業の内容		なし				
目的達成の検証	目的に達した点	なし				
	目的に達しなかった点	なし				
今後の展望		なし				
参加動員数	計画	一般	0	結果	一般	0
		JC会員	0		JC会員	0
		合計	0		合計	0
予算	内部事業資金	¥0	外部導入資金	¥0	予算合計	¥0
決算	内部事業資金	¥0	外部導入資金	¥0	決算合計	¥0

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年 5月16日
------------	------	-----	-----	-------------

委員会	共感創造委員会	委員長	山脇 裕文
事業名	4月100%出席例会		
実施日時	2020年 4月 9日		
実施場所	WEB上		

事業目的	<p>【対内】 メンバー全員が乙訓青年会議所創立の想いや運動の本質を再認識することを目的とする。</p>
事業の内容	<p>【趣旨説明】(3分) 担当: 谷副委員長 ①地域に必要とされる存在として未だに認知度が充分でない現状を伝える。 ②メンバーそれぞれが自分の所属する組織の運動の本質と創立の想いを理解し活動することが、乙訓青年会議所の存在価値を高めることに繋がることを説明する。</p> <p>【委員会発表】(15分) ①乙訓青年会議所の運動の本質を本年度の委員会活動を例に挙げ説明する。</p> <p>【理事長の講話】(15分) ①設立趣意書やチャーターメンバーとの関わりのエピソードを踏まえ、創立の想いを伝えて頂く。 ②先輩諸兄姉が築きあげてこられた、市民、行政、地域諸団体との繋がりや信頼という土台のうえで活動できていることを伝えて頂く。 ③創立の想いと乙訓青年会議所の運動の本質を踏まえて、乙訓青年会議所の目指すべき姿を伝えて頂く。</p> <p>【委員会まとめ】(5分) 担当: 岡田幹事 ①乙訓青年会議所の運動や活動の発信には、乙訓青年会議所の運動の本質や創立の想いに対する理解がなくてはならないことを伝える。 ②乙訓青年会議所の運動の本質や創立の想いに対する理解が、私たちの地域に根差した運動をより良くする一助になり、地域からの共感や信頼を得る発信に繋がることを伝える。</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【事業目的に達した点】</p> <p>【趣旨説明】</p> <p>①メンバーが組織の現状と課題を認識することで、乙訓青年会議所創立の想いや運動の本質から乙訓地域への貢献を今一度考えて頂く一助となった。</p> <p>【委員会発表】</p> <p>①今年の乙訓青年会議所の組織体制を例に挙げ説明することで、体系的な理解となり、乙訓青年会議所の運動の本質の再認識に繋がった。</p> <p>【理事長の講話】</p> <p>①創立の想いを当時の文献や先輩諸兄姉のエピソードを交えてお話し頂くことで、これまでの経緯が分かりやすく伝わり、また改めて文面で確認することで理解が進み再認識することに繋がった。</p> <p>②先輩諸兄姉が築いてこられた信頼や土台に込められた思いを継承することや事業を継続することの大切さを先輩諸兄姉から教わってきた話と重ね合わせることで、運動の本質の再認識に繋げることができた。</p> <p>③組織の目指すべき方向性を理事長に伝えて頂くことで、メンバーの理解が深まり、乙訓青年会議所の存在価値を高める一助となった。</p> <p>【委員会まとめ】</p> <p>①乙訓青年会議所の運動や活動の発信には、乙訓青年会議所の運動の本質や創立の想いに対する理解がなくてはならないことを認識して頂いた。</p> <p>②乙訓青年会議所の運動の本質や創立の想いに対する理解が、乙訓地域のための考えに繋がり、結果として地域からの共感や信頼を得る発信に繋がると理解して頂いた。</p>					
	達しな目的だった点	<p>【事業目的に達しなかった点】</p> <p>【趣旨説明】</p> <p>②乙訓青年会議所の運動の本質を理解することが十分にできなかったため、結果として乙訓地域での存在価値を高めることへの説明が不十分となった。</p>					
今後の展望	<p>今回の例会は乙訓青年会議所運動の原点を再確認する内容となっているので、今後の活動指針のひとつとして活用していけるようにしていきたいと考えています。</p>						
参加動員数	計画	一般	1	結果	一般	0	
		JC会員	48		JC会員	39	
		合計	49		合計	39	
予算	内部事業資金	¥0	外部導入資金	¥0	予算合計	¥0	
決算	内部事業資金	¥0	外部導入資金	¥0	決算合計	¥0	

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年 6月12日
委員会	地域未来創造委員会		委員長	林 哲司
事業名	5月例会			
実施日時	2020年 5月14日(木) 18:30~19:55(登録開始 18:15)			
実施場所	WEB上			

事業目的	<p>【対内】 乙訓地域の魅力や課題に関心をもつとともに、地域の人びとにまちづくりの主体者意識を波及できる人財となる。</p>
事業の内容	<p>【委員長趣旨説明】 ①個人商店数の減少、核家族化、情報化などの社会環境の変化により、地域とのつながりが薄れていることを伝えます。 ②継続的な地域との関わり合いを通じて持続可能なまちづくりの実現が必要であることを伝えます。 ③持続可能なまちづくりの実現に向けて、我々乙訓青年会議所メンバーが地域の魅力や課題に関心をもつとともに地域の人びとにまちづくりの主体者意識を波及する必要があることを伝えます。 ④まちづくりの主体者意識が強まれば、持続可能なまちづくりの実現に繋がることを説明します。 ⑤委員会発表、講師講演、乙訓工房、乙訓味覚の流れ及び内容を説明します。</p> <p>第1部～乙訓塾～ 総則編として乙訓地域全般について基本的な知識を取り上げます。 【委員会発表】 ①乙訓の概要(人口、面積、交通網など)について説明します。 ②乙訓の魅力及び課題(歴史遺産、観光名所、特産物など)について説明します。 ③上記①②の事項について比較方式やクイズ形式を取り入れながら説明します。</p> <p>第2部～竹を愛し乙訓を愛す～ 各論編として乙訓の代名詞である竹についての魅力や課題を取り上げます。 【講師講演】※ビデオ放映 講師:野村秀明様 ①講師に野村秀明氏をお招きして、乙訓の竹文化・歴史、たけのこ農家の活動、竹を乙訓の地域資源として守って来られた想いを語って頂きます。 ②たけのこの1年間の栽培方法(乙訓伝統の栽培方法)、たけのこ畑の管理方法、一級品のたけのこを栽培する工夫についてご講演頂きます。</p>

③たけのこの収穫動画取材した動画(たけのこ農家のプロの目線を乙訓のたけのこ畑の特徴・工夫、収穫方法、たけのこへの想い)を流します。

④竹林を維持するために必要なことや、竹文化普及のために地元で実施されている活動についてご講演頂き、地域資源の新たな活用方法を見いだすことにより、それを通じて地域と関わり合いをもてることを訴えて頂きます。

【乙訓工房】「竹ストロー製作」

①過密竹林の問題を取り上げ、解消方法が必要であることを伝えます。

②海洋汚染の問題により脱プラスチックストローに向けて活動がされていることを紹介し、竹ストローを製作して頂きます。

③竹ストローの製作方法を説明します。

④各自竹ストローを製作して頂きます。

【乙訓味覚】「旬のたけのこを食す」

講師講演において説明された旬のたけのこを食べて頂きます。

【委員会まとめ】

①基本的な知識でも、それがきっかけで乙訓地域の魅力や課題に関心をもてることを伝えます。

②乙訓地域の魅力や課題に関心をもつことにより、地域への誇りと愛着が形成されることを伝えます。

③地域に対する愛着が形成されれば、自ら自発的に行動し、周囲の人びとを巻き込み、ともに行動することで今回の例会が終わった後も地域との継続的な関わり合いをもてることを伝えます。

④竹以外にも乙訓地域には恵まれた地域資源があることを伝え、その資源を通じて乙訓地域との関わり合いをもつことで、主体者意識をもち、まちづくりに参画できることを伝えます。

⑤乙訓に誇りと愛を形成し、地域のリーダーとしてまちの人びとを牽引することの必要性を伝えます。

目的達成の検証

目的に達した点

①【委員会発表】において、乙訓の概要(人口、面積、交通網など)や魅力(歴史遺産、観光名所、特産物など)を説明することで、乙訓地域について知識を深め、興味をもって頂けた。

②【委員会発表】において、比較やクイズ形式を取り入れながら進めることで参加メンバーが集中して、楽しみながら乙訓について学んで頂けた。

③【講師講演】において、乙訓の代名詞である竹についての歴史や文化、たけのこの魅力やたけのこへの想いを聴いて頂けたことで、竹産業を通じての地域愛を認識して頂けた。

④【乙訓工房】において、竹ストローを製作して頂いたことにより、「実際に触れることに意味があった」や「これからもっと関わらないといけないと思った」の回答があり、地域資源を身近に感じて頂き、今後の発展性について考える機会として頂けた。

⑤【乙訓味覚】において、旬のたけのこを食し、地域の魅力について味覚を通じて堪能することにより、誇りと愛着を形成し、地産地消に繋げて頂く一助として頂けた。

⑥【委員会まとめ】において、地域の魅力や課題に関心をもつことの重要性を伝えることにより、地域の魅力において関心や興味があるものを通じて自らも地域と関わり合いをもつ意識を醸成して頂く一助となった。

<p>達 目 的 的 な に か っ た 点</p>	<p>①【乙訓工房】において、過密竹林の問題を知って頂き、地域の課題解消への取り組みに触れて頂いたが、竹林の課題に対する意識が変わりましたかの問いに、どちらともいえない及び変わらないが全体の42%を占め、まちづくりの主体者意識の醸成までは至らなかった。</p> <p>②【アンケート結果】より、地域の人びとにまちづくりの主体者意識を波及できると思うかの問いに対し、どちらとも思わない及び思わないが、51.6%を占め、主体者意識を波及させるためのイメージが伝わらなかったため、主体者意識を波及できると思うまでには至らなかった。</p> <p>③WEB例会に変更となったことに伴い、乙訓工房及び乙訓味覚が同じ空間で実施できなかったため、メンバー同士の些細な想いや認識を共有することができなかった。これにより乙訓JC全体で盛り上げていこうとする機運を創出するまでには至らなかった。</p> <p>④WEB例会に変更となったことに伴い、講師講演が動画放映となり質疑応答の機会が設けられず、相互交流ができなかった。これにより地域との関わり合い方を十分に伝えるまでには至らなかった。</p>					
<p>今 後 の 展 望</p>	<p>今回の例会で、乙訓地域について知識を深め、興味をもって頂けた。今後は地域への関心や愛着が根を張り、様々な分野で地域の人びととの関わり合いを継続し、未来の可能性を創り出して行くことが重要であると考えます。</p>					
<p>参 加 動 員 数</p>	<p>計 画</p>	<p>一 般</p>	<p>1</p>	<p>結 果</p>	<p>一 般</p>	<p>0</p>
		<p>JC会 員</p>	<p>42</p>		<p>JC会 員</p>	<p>36</p>
		<p>合 計</p>	<p>43</p>		<p>合 計</p>	<p>36</p>
<p>予 算</p>	<p>内 部 事 業 資 金</p>	<p>¥49,127</p>	<p>外 部 導 入 資 金</p>	<p>¥0</p>	<p>予 算 合 計</p>	<p>¥49,127</p>
<p>決 算</p>	<p>内 部 事 業 資 金</p>	<p>¥49,127</p>	<p>外 部 導 入 資 金</p>	<p>¥0</p>	<p>決 算 合 計</p>	<p>¥49,127</p>

2020年度事業報告	事業区分	公1	作成日	2020年 7月11日
委員会	青少年育成委員会	委員長	山城直也	
事業名	6月オープン例会			
実施日時	2020年 6月22日			
実施場所	西の丘ローンテニスクラブ			

事業目的	<p>事業目的（対外） 子供たちに見せるべき道徳心を養う必要性を認識して頂くことを目的とする。</p> <p>事業目的（対内） 子供たちに見せるべき道徳心を養う必要性を認識するとともに、率先して道徳心の向上に取り組むことのできる人財となることを目的とする。</p>
事業の内容	<p>乙訓青年会議所YouTubeチャンネルにてライブ配信 6月例会の流れ</p> <p>【委員長趣旨説明】 時間:2分 予定タイムスケジュール ①子供たちの規範意識や道徳心の低下が指摘されている現状を伝える。 ②子供たちの現状は、身近な大人や親の道徳心の低下が影響している可能性を伝える。</p> <p>【講演】 時間:60分 テーマ「道徳って何だろう～異楽共生の生き方～」 講師:西村 日出男氏 講師選定理由 講師プロフィール ①道徳とはどのようなものかお話頂く。 ②自分自身に対する道徳についてお話頂く。 ③他者に対する道徳についてお話頂く。 ④子供の育成に地域の大人の関わり方が重要であることをお話頂く。</p> <p>【質疑応答】時間:10分 ①コメントから質問を募ります。</p> <p>【委員会まとめ】時間:2分 ①道徳心の向上は座学で学ぶだけではなく、身近な大人が模範となり子供たちに道徳心の大切さを自ら気付いてもらうことに繋がることを伝える。 ②大人が道徳心を向上させ接することが、子供たちの道徳心の向上と豊かな人間性を育むことに繋がることを伝える。</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①委員長趣旨説明において子供たちの現状をお話して頂き、規範意識や道徳心が低下している傾向にあることを対外、対内の方に理解して頂くことに繋がった。</p> <p>②講演において道徳とはどのようなものなのかをパワーポイントを活用しお話頂くことで、対外、対内の方に道徳をわかりやすく理解して頂くことに繋がった。</p> <p>③講演において自分自身に対する道徳についてお話頂き、対外、対内の方に「良心」について理解して頂くことに繋がった。</p> <p>④講演において他者に対する道徳心についてお話頂いたことで、他者に対する思いやりや受け入れる気持ち、社会に対する規範意識の向上には自身の道徳の向上が必要であると再認識して頂き、対内の方にはさらに道徳心向上を図ることに繋がった。</p> <p>⑤講演において子供たちに対する道徳についてお話頂き、大人の関わり方や子供の育成に必要な環境の構築にはさまざまな価値観をもつことや、問いを投げかける姿勢をもった他者に対する道徳心が重要であると再認識して頂くことに繋がった。また、対内の方にさまざまな価値観をもつことや、問いを投げかける姿勢を実践して頂くきっかけとなった。</p> <p>⑥委員会まとめにおいて子供たちに対する接し方の重要性を伝え、子供たちとコミュニケーションを取ることが道徳心を育むことに繋がると理解して頂くことに繋がった。また、対内の方により子供たちと積極的にコミュニケーションを取る意識をもつきっかけになりましたか。</p>					
	達目的になかった点	<p>①講演において道徳についての明確な表現が難しく今回は「生き方」を主軸にお話頂いた。しかし、さまざまな見解があるので講演を聞いて頂いたすべての方に道徳心を養う必要性を感じて頂くことができなかった。</p> <p>②大人が当然のこととして道徳心を高くもつことであり道徳心の向上の必要性は理解して頂けたが、子供たちの現状を理解し、大人が率先して道徳心を向上させる必要性について深く伝えることができず理解して頂くに至らなかった。</p>					
今後の展望		大人が道徳心を向上することで子供たちの健全な育成に繋がると考えます。					
参加動員数	計画	閲覧数	250	結果	閲覧数	217	
		JC会員	42		JC会員	35	
		合計	42		合計	35	
予算	内部事業資金	¥129,157	外部導入資金	¥0	予算合計	¥129,157	
決算	内部事業資金	¥129,157	外部導入資金	¥0	決算合計	¥129,157	

2020年度事業報告		事業区分	公3	作成日	2020年 7月30日
委員会		人財育成委員会		委員長	下戸一晃
事業名		7月例会			
実施日時		2020年 7月 9日			
実施場所		平木幹事宅			
事業目的		課題解決を通して、周りから共感を得る人財へと成長することを目的とする。			
事業の内容		<p>【委員長趣旨説明】 3分 ①人の心に影響を与える人財に必要な「信頼・共感・協働」を説明し、本例会のテーマ「共感」を説明する。 ②共感とは相手の言動からも生まれることを説明する。</p> <p>【委員会発表】 7分 ①共感とは何か？を説明する。 ②地域課題に取り組む団体や活動を例に、共感を生む流れを説明する。</p> <p>【乙訓共感王】 13分 ①委員会及び正副理事長をひとつのチームとし、クイズに取り組みます。 ②選択式クイズで、一番共感を生む言動の解答を考えて頂きます。 ③各チームは出題後に委員会LINE・正副理事長LINEにてグループ通話などで解答を1つ決めて頂きます。 ④正解を発表し、解説を行います。 ⑤解説時に共感を生むポイントなどを説明します。 ⑥また、その正解と解説が、課題に取り組む姿勢に活用できるように参考例を説明します。</p> <p>【共感創造シミュレーション】 17分 ①まちの課題から考え、「どのような言動が共感を得ることができるか」を各自、考えて頂きます。 ②人財育成委員会がランダムに指名し、考えて頂いた内容を発表して頂きます。</p> <p>【委員会まとめ】 3分 平木幹事 ①仲間と一緒に課題に取り組む考えをめぐらすことで共感を知る。 ②共感を生む言動を学び実践することが、人の心に影響を与える人財に必要なことだと説明する。</p>			
目的達成の検証	目的に達した点	①アンケートから、「委員会発表を通じて共感について理解できましたか？」の問いにできた以上の方が22人いたことから、共感とは何かと共感が生まれるプロセスを説明したことで、参加者に共感が生まれるプロセスを理解して頂けた。 ②委員会発表において、実際に課題解決に取り組む姿勢が共感を生んでいる活動例を説明したことで、参加者に課題解決に取り組む姿勢から共感が生まれることを理解して頂けた。 ③共感創造シミュレーションにおいて、各委員会に自由な発想で課題解決について向き合ってもらったことで、共感を生む思考のメカニズムについて体験学習して頂けた。 ④委員会まとめにおいて、本日学んだことを実践することで、人の心に影響を与える人財へと成長する一助に繋がりました。 ⑤アンケートから、「人の心に影響を与える人財への成長を感じることができましたか？」の問いに全体的に過半数ができた以上の回答であったので人の心に影響を与える人財へと成長する一助となりました。			

	<p>達目的 しな なにか った 点</p>	<p>①乙訓共感王において、共感を生む言動を問題としてクイズ形式で行いましたが、ZOOM開催というのもあり、グループで考えることがスムーズに行えないなど、本質的な共感を生む言動を上手く伝えられませんでした。 ②例会において音声聞き取りにくいメンバーがいたのと説明を理解できないまま進行されたメンバーがいたことにより、人の心に共感を与える人財の成長には至らないメンバーがいた。 ③アンケートから、「乙訓共感王を通じて共感について理解できましたか？」の問いに、できなかったの回答が6人ありました、このことから、課題に取り組む意欲が向上し、共感に繋がる一助には至らなかった。 ④アンケートから、「人の心に影響を与える人財への成長をかんじることができましたか？」の問いに、できなかった方が3名おられたことから、参加者全員の成長には至らなかった。</p>				
<p>今後の展望</p>	<p>本例会では、人の心に影響を与える人財に必要な「信頼・共感・協働」三つの繋がりを説明しました。そして、共感とは相手の言動や姿勢から生まれることを知って頂けた。11月例会で共感した人財が課題解決に立ち向かい人々に影響を与える人財に成長することに繋がります。</p>					
<p>参加動員数</p>	<p>計画</p>	<p>一般</p>	<p>1</p>	<p>結果</p>	<p>一般</p>	<p>0</p>
		<p>JC会員</p>	<p>42</p>		<p>JC会員</p>	<p>34</p>
		<p>合計</p>	<p>43</p>		<p>合計</p>	<p>34</p>
<p>予算</p>	<p>内部事業資金</p>	<p>¥1,070</p>	<p>外部導入資金</p>	<p>¥0</p>	<p>予算合計</p>	<p>¥1,070</p>
<p>決算</p>	<p>内部事業資金</p>	<p>¥1,044</p>	<p>外部導入資金</p>	<p>¥0</p>	<p>決算合計</p>	<p>¥1,044</p>

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年 8月28日
会議・委員会	正副理事長		理事長	達城 英治
事業名	8月例会・納涼会			
実施日時	2020年 8月13日(木) 18:00~22:30(登録開始 17:30)			
実施場所	株式会社LIV SUBACO グラウンド			

事業目的	<p>8月例会:後半の活動に対する意識を高めるとともに、目標達成へ向けて、主体的に行動できる組織になることを目的とする。</p> <p>納涼会:前半の活動を労うとともに、後半の活動への英気を養うことを目的とする。</p>
事業の内容	<p>《8月例会》</p> <p>【趣旨説明】</p> <p>①困難な現状のなかだからこそ、地域課題や組織課題を再認識するために、理事長所信に立ち返ることの大切さを伝える。</p> <p>②前半の活動を終えて、振り返り検証することで、自らの歩みと現状を把握し、目標達成へ向けた今後の課題が明確になることを伝える。</p> <p>③目標達成に必要な組織力とは、主体的な行動を生む人間関係であることを伝える。</p> <p>【前半の事業・活動の検証並びに後半への激励】</p> <p>①両監事の俯瞰した視点から「前半における事業・活動の検証」を行う。</p> <p>②理事長より、後半の活動の展望を指し示して頂くとともに「後半への激励」を頂く。</p> <p>【チームビルディングゲーム】</p> <p>①組織力を向上させる2つのチームビルディングゲームを行う。</p> <p>【委員会まとめ】</p> <p>①困難な現状のなかでも、委員会が理事長所信をもとに与えられた担いを再認識し、年当初に掲げた目標を達成するためには、一人ひとりが主体的に担いへと向き合う委員会の人間関係が重要であることを伝える。</p> <p>②各委員会が目標達成へ向けて、組織を信じた全力のアクションを起こすことで、地域の未来を創造する学び多き乙訓青年会議所に在籍している「誇り」をもてることを伝える。</p> <p>《納涼会》</p> <p>【全力BBQ】</p> <p>①正副メンバーがメンバーファーストの姿勢と感謝の精神をもって、おもてなしをさせて頂くことで、前半の活動を労わせて頂くとともに、後半の活動への英気を養って頂きます。</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>《8月例会》</p> <p>①【趣旨説明】において、困難な現状のなかだからこそ、地域課題や組織課題を再認識するために、理事長所信に立ち返ることの大切さを理解して頂くことで、後半の活動に対する意識を高めるきっかけとなった。</p> <p>②【趣旨説明】において、前半の活動を終えて、振り返り検証することで、自らの歩みと現状を把握し、目標達成へ向けた今後の課題が明確になることを理解して頂けた。</p> <p>③【趣旨説明】において、目標達成に必要な組織力とは、主体的な行動を生む人間関係であることを認識して頂けた。</p> <p>④【前半の事業・活動の検証並びに後半への激励】において、両監事の俯瞰した視点から「前半における事業・活動の検証」を行ったことで、7割を超える参加メンバーの後半の活動に対する意識を高める一助となった。</p> <p>⑤【前半の事業・活動の検証並びに後半への激励】において、理事長より、後半の活動の展望を指し示して頂くとともに「後半への激励」を頂いたことで、後半の活動に対する意識を高めるとともに、目標達成へ向けて、主体的に行動を開始する気概を醸成できた。</p> <p>⑥【チームビルディングゲーム】において、組織力を向上させる2つのチームビルディングゲームを行ったことで、楽しみながら委員会の人間関係を向上させ、目標達成へ向けて主体的に行動できる組織の礎を築いた。</p> <p>⑦【委員会まとめ】において、困難な現状のなかでも、委員会が理事長所信のもとに与えられた担いを再認識し、年当初に掲げた目標を達成するためには、一人ひとりが主体的に担いへと向き合う委員会の人間関係が重要であると再認識して頂けた。</p> <p>⑧【委員会まとめ】において、各委員会が目標達成へ向けて、組織を信じた全力のアクションを起こすことで、地域の未来を創造する学び多き乙訓青年会議所に在籍している「誇り」をもてることを理解して頂けた。</p> <p>《納涼会》</p> <p>①【全力BBQ】において、正副メンバーがメンバーファーストの姿勢と感謝の精神をもった「おもてなし」をさせて頂いたことで、前半の活動を労わせて頂くとともに、後半の活動への英気を養って頂けた。</p>					
	達目しなにかあった点	<p>《8月例会》</p> <p>①【参加動員計画】において、計画を達成することができず、限られたメンバーにしか事業目的について学びの機会を提供できなかった。</p> <p>②【前半の事業・活動の検証並びに後半への激励】において、両監事の俯瞰した視点から「前半における事業・活動の検証」を行ったが、アンケートの検証から、3割近いメンバーに対しては後半の活動に対する意識を高めることができなかった。</p> <p>《納涼会》</p> <p>①【参加動員計画】において、計画を達成することができず、限られたメンバーにしか、前半の活動への労いや、後半の活動に向けての英気を養うことができなかった。</p>					
今後の展望	<p>本年度は、初めて正副理事長が担当する事業として8月例会納涼会を開催しました。8月例会では沢山の学びや成長の機会をメンバーに提供するとともに、納涼会では後半の活動への英気を養えたと確信しております。正副が例会を設えるという機会は、メンバーからも高い注目を浴び、日々の行動や姿勢以外で伝えたいことを訴えかけることができる、貴重な機会であると考えます。今回の試みが次年度以降の事業構築の参考となることを願います。</p>						
参加動員数	計画	一般	1	結果	一般	0	
		JC会員	42		JC会員	28	
		合計	43		合計	28	
予算	内部事業資金	¥21,700	外部導入資金	¥0	予算合計	¥21,700	
決算	内部事業資金	¥21,240	外部導入資金	¥0	決算合計	¥21,240	

2020年度事業報告	事業区分	公2	作成日	2020年9月21日
------------	------	----	-----	------------

会議・委員会	地域未来創造委員会	委員長	林 哲司
事業名	9月例会・乙訓DREAMフラッグプロジェクト		
実施日時	2020年9月12日(土) 【9月例会】 14:30～15:17(登録開始 14:00) 【乙訓DREAMフラッグプロジェクト完成披露式】 15:36～16:31(受付開始 15:20)		
実施場所	天王山夢ほたる公園 (所在地)京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字松田		

事業目的	<p>【対外】 乙訓地域や人びととのつながりから、乙訓愛を認識して頂くことを目的とする。</p> <p>【対内】 乙訓地域や人びととのつながりを実感して頂くとともに、まちづくり事業の喜びや誇りを創出することを目的とする。</p>
------	--

事業の内容	<p>乙訓DREAMフラッグプロジェクト～つなげよう、乙訓のエール～ 【乙訓2020ドキュメンタリー映像～つなげよう、乙訓の元気～制作】 ①昨年の乙訓DREAMフェスタ参加者に現状や今後の展望を伺う。 ②通常であればフェスタという形で集まって頂く予定であったが、コロナ禍で集まらない状況にある各協力者の方々の今できることを着実に実行されている前向きで元気な姿を撮影する。 ③乙訓二市一町の首長3名から乙訓地域の市民に向けて送るエール動画を撮影する。 ④撮影した各動画をつなぎ合わせて編集し、乙訓2020ドキュメンタリー映像～つなげよう、乙訓の元気～として完成させる。</p> <p>【乙訓DREAMフラッグプロジェクト～つなげよう、乙訓のエール～】 ①正会員メンバーで分担し、プロジェクトの趣旨を拡散し、乙訓DREAMフラッグ制作に必要な枚数最低2000枚の写真を撮影する。 ※子供たちに向けてエールを込めた写真(応援するポーズや応援グッズなど元気溢れる素敵な写真)を募集します。 ※被写体は人物に限定しません。 ※正会員メンバーへの周知は正会員メール及び委員会メンバーによる電話での協力依頼にて説明致します。 ②写真投稿フォームを通じて写真の募集を行う。 ③それぞれの想いの詰まった2000枚の写真をつなぎ合わせ、モザイクアートのデータとして加工し、横断幕として仕上げる。 ※モザイクアートの文字は乙訓地域に関連する人びとの想いを集めた形ということ表現するため、「乙訓愛」とする。 ④「乙訓愛」の文字を向陽高校書道部に書いて頂く。</p> <p>9月例会・乙訓DREAMフラッグプロジェクト完成披露式 ※YOUTUBE乙訓JCチャンネルにて生LIVE配信します。 【オープニング映像】(1分) ①オープニング映像を流す。 【委員長趣旨説明】(3分) ①先行きが不透明な現状においても今できることの着実に進めることの重要性を伝える。 ②昨年乙訓DREAMフェスタにおいて参加頂いた方々も、乙訓地域に根ざして可能な限りの活動をされていること伝える。 ③例年とは違った形であっても乙訓愛を核としてまちづくりを継続していく重要性を伝える。 ④この状況下で懸命に努力している子供たちにエールを送るため、乙訓DREAMフラッグ制作を計画したことを伝える。</p>
-------	--

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【事業目的に達した点】</p> <p>①【乙訓DREAMフラッグ制作】において、正会員メンバーで分担し、写真撮影やプロジェクトの周知活動を行った。メンバーが互いに協力し合うことにより共通の目的をもって事業を遂行できた。</p> <p>②【乙訓DREAMフラッグ制作】において、人びとに事業の趣旨に賛同頂き、子供たちへのエールのつながりを通じて乙訓愛を表現することにより地域愛を感じて頂けた。</p> <p>③【オープニング映像】をメッセージ性の強い映像にしたため、本事業の趣旨を直感的に理解して頂くことができた。</p> <p>④【乙訓2020ドキュメンタリー映像】において、昨年の乙訓DREAMフェスタ参加者の方々も今できることを考え、地域に根ざして前向きに活動されていることを伝えることで、今後もまちづくりを継続していく必要性を伝えることができた。</p> <p>⑤【乙訓DREAMフラッグ制作PV映像】において、乙訓DREAMフラッグ制作過程を振り返って頂くことにより、メンバー全員でやり遂げた意識を高め、乙訓青年会議所のまちづくり事業への誇りを醸成して頂くことができた。</p> <p>⑥【乙訓DREAMフラッグ披露】において前向きな写真のつながりを見て頂くことにより、乙訓地域とのつながり及び乙訓愛を感じて頂くことができた。</p> <p>⑦【委員会まとめ】において、乙訓愛を通じて乙訓地域や人びととのつながりを継続していくことの重要性を伝え、地域愛をもつことにより地域との関係性をより強固にできることを伝えることができた。</p> <p>⑧【寄贈】完成した横断幕を乙訓地域の公立中学校及び公立高校へ各校1枚寄贈することにより二市一町のつながり、乙訓愛を認識して頂く機会を設けることができた。</p> <p>⑨【事業全般を通じて】コロナ禍において例年のフェスタ形式とは異なる事業ではあったが、様々な方法で地域とのつながりを形成できることができた。</p>					
	達目的になかった点	<p>【事業目的に達しなかった点】</p> <p>①【乙訓2020ドキュメンタリー映像制作】において、昨年の乙訓DREAMフェスタ参加者に現状や今後の展望などのお話を伺ったが、映像制作に関わる部分であり委員会メンバーのみで分担したため、乙訓2020ドキュメンタリー映像は委員会以外のメンバーにとっては受身の体制になった。</p> <p>②【乙訓DREAMフラッグ制作プロモーション映像】において、スペシャルゲスト金村義明氏からのメッセージ動画を放映したが、単調な内容となったため、乙訓地域の子供たちへのエールとしては印象が薄くなった。</p> <p>③【事業全般を通じて】乙訓全域にプロジェクトの拡散ができなかったことや例会当日の一般参加者及び動画閲覧数が少なかったことから、乙訓地域一丸となつての事業にまでは至らなかった。</p>					
今後の展望		<p>今回の事業ではフェスタ以外の手法により地域愛を「乙訓愛」というキーワードで表現することができたと考えます。今後は、この地域愛のつながりをさらに深めるとともに新たなつながりを創出することにより乙訓愛の輪を広げて行くことが重要であると考えます。</p>					
参加動員数	計画	写真掲載数	2,000	結果	写真掲載数	1,613	
		一般	51		一般	13	
		JC会員	42		JC会員	30	
		閲覧数	2,810		閲覧数	438	
		合計	4,903		合計	2,094	
予算	内部事業資金	¥350,000	外部導入資金	¥100,000	予算合計	¥450,000	
決算	内部事業資金	¥346,098	外部導入資金	¥100,000	決算合計	¥446,098	

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年11月29日
委員会	共感創造委員会		委員長	山脇 裕文
事業名	10月例会			
実施日時	2020年10月 8日			
実施場所	長岡京市立産業文化会館 1階大会議室			

事業目的	<p>【対内】 乙訓青年会議所の活性化に繋がる出向への意欲を向上させることを目的とする。</p>
事業の内容	<p>【オープニング動画】(2分) 印象に残っている出向風景写真を委員会で選出し動画として流す。</p> <p>【趣旨説明】(3分) ①委員会発表より事前アンケートからLOM全体の出向に対する現状を知って頂くことを伝える。 ②メンバーの出向での経験を発表して頂くことで、出向でのメンバーの成長がLOMの活性化に繋がることを伝える。</p> <p>【委員会発表】(24分) ①出向の仕組みを説明しつつ、今年の出向者と出向先の事業内容の紹介をする。 ②事前アンケートの結果を発表するとともにアンケート結果を委員会で考察し報告する。 ③図を使って出向で得られる効果を説明する。</p> <p>【出向経験者発表 第一幕～出向の魅力や楽しさ、LOMへの還元について～】(37分) 発表者: 上原史明君 人との出会いにより新たな考え方を知ることで、LOMでの新たなことへの創造に繋がることを話して頂く。 発表者: 坂元陸君 出向で時間を使う苦勞からの学びや、苦勞を上回る楽しさが出向にあることを話して頂く。 発表者: 田中望麻君 出向への学びを活かすには、LOMの活動にも参加していく必要があり、それによるLOMの変化がまた新たな出向に繋がることを話して頂く。</p> <p>【出向経験者発表 第二幕～次年度の出向への意気込み～】(10分) 発表者: 岩本伸一君 次年度の出向は、乙訓メンバー全員で取り組み支えていく必要があるため、メンバー全員が一丸となって取り組むことの重要性を話して頂く。</p> <p>【委員会まとめ】(5分) ①出向で得られる経験を知ることで、出向には成長できる機会があることを伝える。 ②出向での意欲的な参加がメンバーの成長に繋がることで、LOMの新たな魅力を生み、活性化に繋がることを伝える。 ③次年度の出向は乙訓青年会議所として取り組む必要があることを伝える。</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【事業目的に達した点】</p> <p>①委員会発表において、事前アンケートから乙訓青年会議所メンバーの半数程度しか次年度の出向へ意欲的に取り組めていないという現状や課題を知ること、メンバー自身が出向への取り組み方について振り返って考える一助となった。</p> <p>②委員会発表において、今年の出向者を組織図から紹介し、各出向者の出向先と出向先での活動状況を知って頂くことで、出向メンバーの活動を理解して頂けた。</p> <p>③委員会発表において、出向の仕組みを図式化し説明することで、出向の仕組みについて理解が進み、出向がLOMの活性化に繋がることを認識できたメンバーがアンケート結果より78.8%いたことから、メンバーが目的意識をもって出向することへの一助となった。</p> <p>④出向経験者発表において、各出向者の出向先での経験から得られた話を聞いて頂いたメンバーの94%が意欲的な出向が重要であると認識できた、とアンケートで回答し認識に繋がった場面をアンケート結果へと記載して頂いたことから、出向に行くことで得られる学びや成長があることを認識して頂けた。</p> <p>⑤出向経験者発表において、次年度出向予定者から次年度の出向をLOM一丸となって取り組むことの重要性を発表して頂くことで、LOMでの次年度における出向の重要性を認識して頂けた。</p> <p>⑥委員会まとめにおいて、出向での個々の成長がLOMの活性化に繋がることを、出向経験者発表を振り返ることで知って頂けた。</p> <p>⑦委員会まとめにおいて、次年度は出向への取り組み方が特別となる年度となり、LOMが一丸となって取り組むことの必要性を伝えることで、出向への参加意欲の醸成に繋がった。</p> <p>⑧事前アンケートにおいて、次年度出向をしないと回答したメンバーが45%であったが、事業後のアンケート集計結果より委員会発表から出向によるLOMの活性化を具体的に認識して頂いたメンバーが78%、出向経験者発表から出向がLOMの活性化に重要であると認識頂いたメンバーが94%いたことから、出向に対する意欲の向上に繋がった。</p>				
	達しな目的点	<p>【事業目的に達しなかった点】</p> <p>①オープニング動画について、メンバーごとの一番の思い出に残る写真を委員会で選定したが、内容が偏ってしまいメンバーごとの思い出に残る写真を選べたとはえず、充分に出向への思い出を呼び起こすことに繋げることができなかった。</p> <p>②委員会発表において、出向への積極的な取り組みがLOMの活性化に繋がることについて説明したが、出向経験者発表を委員会発表と結びつけることができず、出向による学びとLOMの活性化の結びつきについて具体的に認識してもらえなかった。</p> <p>③委員会発表において、事前アンケートで次年度出向について回答して頂いたメンバーを、LOMでの出席率やJC歴などのデータを使い分類することで考察に繋げることができたが、他の質問事項に対してアンケート集計する意図が明確ではなかったため、ただ内容を紹介するのみとなってしまい考察に繋げることができなかった。そのため、メンバーの深い認識に繋がれなかった。</p> <p>④委員会発表において、出向がメンバーの成長に繋がることでLOMの新たな魅力を生み、LOMの活性化に繋がることについて、意欲的な出向が重要であることを認識させることができなかった。そのため、メンバーがアンケート結果として「どちらともいえない」と答えており、出向での成長がLOMの活性化へと結び付きにくくなった。</p>				
今後の展望	<p>今回の例会により乙訓青年会議所の出向への取り組みを活性化させ、出向での学びをLOMに還元させることでLOMの活性化に繋げ、今後の地域での活動をより良いものにしていきたいと考えています。</p>					
参加動員数	計画	一般	1	結果	一般	1
		JC会員	42		JC会員	36
		合計	43		合計	37
予算	内部事業資金	¥8,700	外部導入資金	¥0	予算合計	¥8,700
決算	内部事業資金	¥8,520	外部導入資金	¥0	決算合計	¥8,520

2020年度事業報告	事業区分	公3	作成日	2020年12月18日
委員会	人財育成委員会	委員長	下戸一晃	
事業名	11月オープン例会			
実施日時	2020年11月12日			
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター 3階メインホール			

事業目的	<p>対外: 周囲の人を協働に導く人財へと成長して頂く一助となることを目的とする。</p> <p>対内: 地域の人を課題に立ち向かう協働者へと導く魅力的な人財に成長して頂く一助となることを目的とする。</p>
事業の内容	<p>1. オープニングムービー (2分)</p> <p>2. 委員長趣旨説明 (3分) 担当: 下戸委員長</p> <p>①人の心を動かし協働へ導くには、信頼・共感・協働が必要なことを説明する。</p> <p>②今回のテーマの「共感から協働へ」について説明する。</p> <p>③「CHEER UP 花火」の説明を行い、対談講演の着眼点を説明する。</p> <p>3. 講師対談テーマ「共感から協働へ」(60分) 講師: 池本敏和氏、上埜昌紀氏 ファシリテーター: 山中委員</p> <p>①「CHEER UP 花火」を行うようになった経緯について、お話して頂く。 Cheer UP! 花火プロジェクト</p> <p>②共感から協働へと繋がった経緯を、お話して頂く。</p> <p>③「CHEER UP 花火」を行うにあたり、苦労した点とその解決策について、お話して頂く。</p> <p>④相手に伝わる念いの伝え方を、お話して頂く。</p> <p>⑤「CHEER UP 花火」を開催後の周囲の人からの反響などについて、お話して頂く。</p> <p>⑥最後にこのプロジェクトを終えた感想を、お話して頂く。</p> <p>4. エンディングムービー(3分)</p> <p>5. 質疑応答(4分)</p> <p>6. 委員会まとめ(5分) 担当: 河合副委員長</p> <p>【対内】</p> <p>①人の心に響く魅力的な念いこそが、人を課題解決へと導く先導者に成長させることを伝える。</p> <p>②課題に立ち向かう人びとを増やすことが、協働し能動的に地域を変える一歩であると伝える。</p> <p>【対外】</p> <p>①人の心に響く魅力的な念いがあれば、誰もが課題解決へと導く先導者に成長できることに伝える。</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①委員長趣旨説明において、人の心を動かし協働へ導くには、信頼・共感・協働が必要なことを伝え、信頼から共感へ、共感から協働に繋がることを学んで頂けました。</p> <p>②委員長趣旨説明において、今回のテーマの「共感から協働へ」について説明し、協働者へと導ける共感する念いを伝えようとする姿勢が、魅力的な人財に繋がることを学んで頂けました。</p> <p>③「CHEER UP 花火」を行うようになった経緯とメンバーが集まり、さらに周囲の人びとを巻き込んだ過程をお話し頂くことで、人びとが一つのことに向かう動機付けを学んで頂けました。</p> <p>④「CHEER UP 花火」を開催後の周囲の人からの反響などについて、お話をさせて頂くことで、共感から協働に繋がることを学んで頂けました。</p>					
	目的の達成に合った点	<p>①オープニングムービーにおいて、実際に6月1日に行われた花火の動きと委員長趣旨説明では伝えましたが、動画内にテロップで説明するなど動画の意味合いを伝えることができませんでした。</p> <p>②相手に伝わる念いの伝え方を、お話しして頂くことで、人の心に響く魅力的な念いの伝え方を学んで頂くことに関して、新しい場所で花火を打ち上げるのに何度も通い交渉して許可を頂いたお話をさせて頂いたが、念いの部分の話が少なく予定していた効果を得られたとはいえませんでした。</p> <p>③プロジェクトを終えた感想をお話しして頂くことで、共感から協働に繋げる魅力的な人財になるきっかけを学んで頂くことに関して対談の進行時間が予定より遅れていたため、駆け足になってしまい対談内容からは共感から協働に繋げる魅力的な人財になるきっかけを伝えられたとはいえませんでした。</p> <p>④委員会まとめにおいて、上手に話せず人の心に響く魅力的な念いこそが、人を課題解決へと導く先導者に成長させることを伝え、まちの課題解決が多くの地域の方が能動的に動ききっかけとなることがわかりにくかったです。</p> <p>⑤委員会まとめにおいて、上手く話せず課題に立ち向かう人びとを増やすことが、協働し能動的に地域を変える一歩であると気付いてもらい、多くの人びとを協働へと導ける人財に成長するきっかけとなることができませんでした。</p> <p>⑥エンディングムービーにおいて、テロップだけでは協働の大切さが伝わりませんでした。</p>					
今後の展望	<p>本例会では、「共感から協働へ」をテーマに課題への取り組み方、向き合い方など、どのように周囲を巻き込み一緒に課題に立ち向かうかを学びました。参加ご視聴頂いた方が「協働」して課題解決ができることにつながったと確信します。</p>						
参加動員数	予定	一般	135	結果	一般	1	
		JC会員	42		JC会員	34	
		視聴者	1,000		視聴者	192	
		合計	1,177		合計	227	
予算	内部事業資金	¥300,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥300,000	
決算	内部事業資金	¥299,043	外部導入資金	¥0	決算合計	¥299,043	

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年12月21日
------------	------	-----	-----	-------------

会議・委員会	総務財政委員会	議長・委員長	嶋田 剛士
事業名	12月例会		
実施日時	2020年12月10日 13:30~15:41		
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都 平安①②		

事業目的	組織の継続的な発展に繋がる活動意欲の高いメンバーへと成長することを目的とする。
	<p>【褒賞授与式(前半)】 時間:18分 褒賞基準一覧 褒賞有資格者一覧 褒賞授与式オープニング映像イメージ 褒賞授与式発表時映像イメージ 内容:本年度、顕著な活躍をされたメンバーを称えて表彰する。式次第の順番で各賞の受賞者を発表する。 実質100%出席賞を発表 発表者:司会 ↓ 特別功労賞を発表 発表者:前年度受賞者の三浦直前理事長 ↓ 委員会特別賞を発表 発表者:坂元専務理事</p> <p>【乙訓メモリアルフォト】 時間:14分 乙訓メモリアルフォト内容 乙訓メモリアルフォト映像イメージ 内容:本年度のJC生活を振り返り、皆と分かち合いたいことや、本年度の活動で自分を含む委員会(出向者は出向先委員会含む)の1番記憶に残った写真や委員会内の自分が好きな写真を正会員全員から1人1枚集め、投票形式にて選定し、投票数が多かった16枚の写真で次年度でも今年度を振り返れるように、タイトル及び写真付きカレンダーを作成します。</p> <p>【事前】 正会員全員から写真及びタイトルを募集する。 応募はLOMの所属委員会分1枚と出向者は出向先委員会分1枚を松宮副委員長へLINEアプリにて送信。 ※投票により写真を選出するため、1人で出向されているメンバーは出向先の写真を3枚提出。 ↓ 提出して頂いたタイトル及び写真を、投票フォームにて配信し、全員に委員会ごとに良いと思うものを選んでもらう。 合計16枚(LOM7委員会+正副理事長・常任理事+出向先委員会8委員会)に投票。 ※選定基準は問いません。自身の好みで構いません。 ↓ 総務財政委員会が投票結果集計を行う。 ↓ タイトル及び写真付きカレンダーを作成。(A6卓上型) (選定されたLOM7委員会+正副理事長・常任理事で8ヶ月分) (出向先の日本青年会議所2委員会分1ヶ月分・近畿地区協議会2委員会分1ヶ月分・京都ブロック協議会4委員会分2ヶ月分)</p> <p>【当日】 オープニング映像として提出してもらった写真を映像にてスクロールして流す。(30秒) ↓ 乙訓メモリアルフォトの趣旨を説明する。(1分) ↓ 選定された16作品を発表し、タイトル及び写真と提出者の名前を映像に映して司会から写真内容の読み上げをする。(12分) ↓</p>

事業の内容

エンディング映像にて終了する。(30秒)

↓
作成したタイトル及び写真付きカレンダーは例会翌日事務局のレターボックスにて配布。

【褒賞授与式(後半)】

時間:17分 褒賞授与式出向者特別賞発表時映像イメージ 出向者一覧

出向者特別賞を発表 発表者:前年度受賞者の坂元専務理事

↓
最優秀新人賞を発表 発表者:前年度受賞者の小林委員

↓
優秀会員賞を発表 発表者:前年度受賞者の林委員長

↓
最優秀会員賞を発表 発表者:前年度受賞者の松宮副委員長

【委員長総括】

時間:28分 委員会登壇時映像イメージ 委員会登壇の流れ

内容:委員会ごとに1年間の活動をまとめた映像をスクリーンに映し、映像が映し出されている間に速やかに委員会メンバーに左から登壇して頂く。

委員長より1年間の活動のなかで最も思い出深い出来事を含め、委員会メンバーに対する労いの言葉をかけて頂く。

総括終了後、委員会メンバーは次の委員会の映像がスクリーンに映し出されている間に右から降壇して頂く。この一連の流れを各委員会が順に行う。

総務財政委員会の登壇時の司会は坂元専務理事にご協力をお願いし、総務財政委員会は降壇後、再度司会に戻り、理事長総括の進行に移る。

①各委員会映像(映像20秒×7員会)

②委員長からの言葉(1委員会3分30秒×7委員会、総務財政委員会降壇1分)

【理事長総括】

時間:10分

内容:達城理事長に登壇頂き、本年度の活動全体を振り返って頂き、乙訓青年会議所の活動成果を総括して頂く。

総括終了後は理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式の進行に移る。

①理事長登壇(1分)、理事長より全体総括。(8分)

②達城理事長は残って頂き、三浦直前理事長、小西理事長予定者登壇。(1分)

【理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式】

時間:5分 プレジデンシャルリース伝達式詳細説明

内容:達城理事長より次年度理事長予定者へ理事長バッジを伝達頂き、次いで三浦直前理事長より達城理事長へ直前理事長バッジを伝達頂く。次にプレジデンシャルリースを2020年度正副メンバー、2021年度正副予定者メンバーを介して達城理事長から次年度理事長予定者へと伝達して頂く。

①2020年度正副メンバーと2021年度正副予定者メンバー登壇。(1分)

②理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式。(3分)

③理事長予定者は壇上に残って頂き、2020年度正副メンバーと2021年度正副予定者メンバー降壇。(1分)

【理事長予定者挨拶】

時間:5分

内容:次年度理事長予定者より次年度への意気込みと抱負を話して頂く。

①小西理事長予定者挨拶。(4分)

②小西理事長予定者降壇。(1分)

【エンディング映像】 エンディング映像イメージ

時間:2分

内容:2020年度のスローガンから始まり、メンバーの写真を映像で流し、2021年度小西理事長予定者の写真を映す。

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①本年度の活動において顕著な活躍をしたメンバーを称え表彰し、受賞の喜びを語って頂いたことで、受賞したメンバーがさらに青年会議所活動を行う励みとなるだけでなく、受賞できなかったメンバーにも、さらなる向上心が生まれた。</p> <p>②「乙訓メモリアルフォト」にて写真を提出してもらうとともに、今年を振り返りながら、本年度の良かった点や悪かった点を思い出すことにも繋がり、次年度以降への取り組みや委員会活動の向上へと繋がった。</p> <p>③委員会総括にて全員で各委員会の活動を振り返ることで、委員会メンバーの成長を再確認して頂けるとともに、次年度以降へ活動意欲の向上に繋がった。</p> <p>④理事長総括にて1年間の乙訓青年会議所活動を振り返るとともに理事長からメンバー一同への感謝や労いのお言葉を頂けたことで、活動への次年度以降への活動意欲の向上へと繋がった。</p> <p>⑤理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式により引き継ぎを行い、小西理事長予定者より次年度の抱負、意気込みをお話し頂くことで、次年度への引継ぎを感じて頂くとともに、メンバーが理事長予定者の掲げるスローガン及び乙訓青年会議所がなすべきビジョンを共有し、次年度への活動意欲の向上に繋ぐことができ、新たな気持ちで活動に臨む機会となった。</p>				
	達目的になかった点	なし				
今後の展望	今後も一年間の活動を総括し、次年度へと繋げる例会を開催する必要がある。					
参加動員数	計画	一般	6	結果	一般	2
		JC会員	43		JC会員	35
		合計	49		合計	37
予算	内部事業資金	¥150,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥150,000
決算	内部事業資金	¥127,726	外部導入資金	¥0	決算合計	¥127,726

理 事 会

回 数	開 催 日 場 所	審 議 事 項
第1回 (予定者)	2019年10月 5日(土) 京都嵐山温泉 渡月亭 2階	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 基本理念・基本方針(案)に関する件 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 スローガンテーマ(案)に関する件 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 理事長所信(案)に関する件 4) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 組織図(案)に関する件 5) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 会議・構成員(案)に関する件 6) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画(案)に関する件 7) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 正副・委員会活動計画(案)に関する件 8) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 委員会配属(案)に関する件 9) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 役員セミナー
第2回 (予定者)	2019年10月28日(月) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 委員長方針(案)に関する件 a) 総務財政委員会委員長方針(案) b) 魅力拡大委員会委員長方針(案) c) 人財育成委員会委員長方針(案) d) 青少年育成委員会委員長方針(案) e) 地域未来創造委員会委員長方針(案) f) 信頼構築委員会委員長方針(案) g) 共感創造委員会委員長方針(案) 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 第1次収支予算(案)に関する件
第3回 (予定者)	2019年11月18日(月) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 委員長方針(案)に関する件 a) 青少年育成委員会委員長方針(案)

		<ul style="list-style-type: none"> b) 信託構築委員会委員長方針（案） c) 共感創造委員会委員長方針（案） d) 人財育成委員会委員長方針（案） <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 諸登録料（案）に関する件</p> <p>3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 褒賞基準（案）に関する件</p>
第4回 （予定者）	2019年12月9日（月） 円明寺ヶ丘自治会館 1階 会議室	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 委員長方針（案）に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 共感創造委員会委員長方針（案） <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 1月例会・新春交歓会 b) 2月例会 <p>3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業予算支出依頼書に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓JCホームページ b) 乙訓新聞 <p>4) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 会員選考委員会設置（案）に関する件</p> <p>5) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 入会基準（案）に関する件</p>
第1回 （臨時予定者）	2019年12月19日（木） 円明寺ヶ丘自治会館 1階 会議室	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業予算支出依頼書に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓JCホームページ b) 乙訓新聞
第2回 （臨時予定者）	2019年12月23日（月） 円明寺ヶ丘自治会館 1階 会議室	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業予算支出依頼書に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓新聞
第1回	2020年1月12日（日） 長岡京市立中央生涯学習セン ター 4階 学習室2・3	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓JC説明会並びに新入会員募集 b) 乙訓文化少年団団員募集 c) 3月例会 <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 第2次収支予算（案）に関する件</p>

		3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 通常総会に付議すべき事項に関する件
第2回	2020年 2月20日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 3月例会 b) 乙訓文化少年団 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 役員・スタッフセミナー b) 1月例会・新春交歓会
第3回	2020年 3月19日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 乙訓文化少年団 b) 4月メモリアル100%出席例会 c) 5月例会 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書修正に関する件 a) 2月例会 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 2月例会 4) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 4月新入会員入会に関する件 5) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 新入会員委員会配属(案)に関する件
第1回 (臨時)	2020年 3月24日(火) 随所(WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 乙訓文化少年団
第2回 (臨時)	2020年 3月27日(金) 随所(WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 4月メモリアル100%出席例会
第3回 (臨時)	2020年 4月 2日(木) 随所(WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 4月メモリアル100%出席例会

第4回 (臨時)	2020年 4月 7日(火) 随所 (WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 4月メモリアル100%出席例会
第4回	2020年 4月16日(木) 随所 (WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書修正に関する件 a) 2月例会 b) 3月例会 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 2月例会
第5回	2020年 5月21日(木) 大原野総合自治会館 随所 (WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 6月オープン例会 b) 7月例会 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 4月100%出席例会 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 選挙管理委員会設置(案)に関する件
第6回	2020年 6月18日(木) 随所 (WEB会議)	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 7月例会 b) 8月例会・納涼会 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書修正に関する件 a) 5月例会 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 乙訓文化少年団団員募集 b) 5月例会
第7回	2020年 7月16日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 8月例会・納涼会 b) 9月例会・乙訓DREAMフラッグプロジェクト 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所

		事業計画書・収支予算書修正に関する件 a) 6月例会 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 6月例会
第8回	2020年 8月20日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) FTセミナー 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業予算支出依頼書に関する件 a) 防災セミナー 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 7月例会
第9回	2020年 9月17日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 10月例会 b) 11月オープン例会 c) FTセミナー 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 8月例会・納涼会 3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 第1回臨時総会に付議すべき事項に関する件 4) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 9月新入会員入会に関する件
第5回 (臨時)	2020年 9月30日(水) 長岡京市立中央生涯学習セン ター 4階 学習室1	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 10月例会 b) FTセミナー 2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 新入会員委員会配属(案)に関する件
第6回 (臨時)	2020年10月 5日(月) 長岡京市立中央生涯学習セン ター 4階 学習室1	1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 10月例会

<p>第10回</p>	<p>2020年10月15日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室</p>	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 12月例会 b) 12月卒業式・忘年会</p> <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 9月例会・乙訓DREAMフラッグプロジェクト</p> <p>3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業予算支出依頼書修正に関する件 a) 防災セミナー</p> <p>4) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業決算支出報告書に関する件 a) 防災セミナー</p> <p>5) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 10月新入会員入会に関する件</p> <p>6) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 新入会員委員会配属(案)に関する件</p>
<p>第11回</p>	<p>2020年11月19日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室</p>	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書・収支決算書に関する件 a) 10月例会</p> <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 第2回臨時総会に付議すべき事項に関する件</p> <p>3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 褒賞受賞者に関する件</p>
<p>第12回</p>	<p>2020年12月17日(木) SBL烏丸会議室 2階 中会議室1</p>	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 新入会員入会取り消しに関する件</p> <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 特別会員入会に関する件</p>
<p>第7回 (臨時)</p>	<p>2020年12月26日(土) 大原野総合自治会館 2階 会議室</p>	<p>1) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業計画書修正予算書に関する件 a) 乙訓JC説明会並びに新入会員募集 b) 乙訓文化少年団 c) FTセミナー</p> <p>2) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告書・収支決算書に関する件</p>

		<ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓JC説明会並びに新入会員募集 b) 乙訓文化少年団 c) FTセミナー d) 10月例会 e) 11月オープン例会 f) 12月例会 g) 12月卒業式・忘年会 <p>3) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業予算支出依頼書修正に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓JCホームページ <p>4) 2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 事業決算支出報告書に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 乙訓JCホームページ b) 乙訓新聞
第8回 (臨時)	2021年 1月16日(土) 随所 (WEB会議)	1) 2021年度公益社団法人乙訓青年会議所 通常総会に付議すべき事項に関する件

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年 1月21日
委員会	総務財政委員会		委員長	嶋田 剛士
事業名	役員・スタッフセミナー			
実施日時	2019年10月30日			
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター 4階学習室1・2・3			

事業目的	(対内)役員・スタッフ一人ひとりの責任感を醸成するとともに、理事長が定める1年間の方向性のもとで志を同じくすることを目的とする。
	<p>◆事前準備 【事前アンケート】事前アンケート(スタッフ用) 事前アンケート(正副用) 審議通過予定日の翌日となる10月6日に、委員会スタッフ各位に「事前アンケート(スタッフ用)」を、正副理事長各位および常任理事に「事前アンケート(正副用)」を配信します。 10月13日23時59分までに回答し、提出して頂きます。 回答期限の翌日となる10月14日に坂元専務理事のご協力のもと、講演者各位および正副理事長各位に全てのアンケート結果を配信して頂きます。</p> <p>◆事業当日 【委員長趣旨説明】時間3分 ①同じ方向を目指した組織でないと展開する運動の効果が半減することをお伝えします。 ②理事長の定める方向性を理解する重要性をお伝えします。 ③同じ方向に向かって進むためには協力し合える組織である必要性をお伝えします。 ④各役職が各役割を遂行することが円滑な組織運営に繋がることについてお伝えします。 ⑤各役職が各役割を遂行するためには、自身の役職に対する責任と自覚が必要であることをお伝えします。 ⑥単年度制の運営にあたり、全員が役職を全うし、一から委員会運営、組織運営を行う必要性があることをお伝えします。</p> <p>【第1部】 理事長講演 時間40分 理事長講演資料イメージ ①理事長所信とスローガンに基づき2020年度の運動方針と方向性をご講演頂きます。(30分) ②ご講演頂いた内容に関しての質疑応答(10分) 講演テーマ:「全員全力! ~信じる心で誇りと未来を創造しよう~」、「2020年度公益社団法人乙訓青年会議所 方向性の共有」 講演者:達城 英治 理事長会場:4階学習室1 対象者:役員・スタッフ</p> <p>【第2部】 委員会スタッフへの講演 時間30分 委員会スタッフごとに分かれ、講演者にご自身の経験を踏まえた役職の役割とその責任についてご講演頂きます。 内容として、①その役職の必要性、②その役職がすべき役割、③その役職が担う責任、④その役割と責任のためにすべき行動、⑤その役職がすべきメンバーへの配慮をお話し頂きます。 また、事前アンケート結果をもとに意見やアドバイスを頂戴します。</p>

事業の内容

講演テーマ:「委員長の役割とその責任」

講演者:藤田副理事長

会場:4階学習室1

対象者:委員長

講演テーマ:「副委員長の役割とその責任」

講演者:山口副理事長

会場:4階学習室2

対象者:副委員長

講演テーマ:「幹事の役割とその責任」

講演者:小西副理事長

会場:4階学習室3

対象者:幹事

直前理事長、監事、専務理事は巡回して頂き、各講演の補助をして頂きます。

理事長は巡回して頂き、各講演の見学をして頂きます。

【第3部】

I. 正副理事長・常任理事への講演 時間30分

理事長・直前理事長・監事のグループと副理事長・専務理事・常任理事のグループに分かれ、講演者にご自身の経験を踏まえた役職の役割とその責任についてご講演頂きます。

内容として、①その役職の必要性、②その役職がすべき役割、③その役職が担う責任、④その役割と責任のためにすべき行動、⑤その役職がすべきメンバーへの配慮をお話し頂きます。

また、事前アンケート結果をもとに意見やアドバイスを頂戴します。

講演テーマ:「理事長・直前理事長・監事の役割とその責任」

講演者:伊藤 邦夫 様

会場:4階学習室2

対象者:理事長、直前理事長、監事

講演テーマ:「副理事長・専務理事・常任理事の役割とその責任」

講演者:齋藤 円 様

会場:4階学習室3

対象者:副理事長、専務理事、常任理事

II. 行動指針(役割編)作成 時間30分 行動指針作成フォーマット

※「I. 正副理事長・常任理事への講演」と同時進行で行います。

各委員会スタッフには、「【第2部】委員会スタッフへの講演」の記憶が新しい内に、行動指針(役割編)を作成し、自身の役職の役割と向き合って頂きます。なお、行動指針(心構え編)は【第4部】全体講演を拝聴してからの作成となるため、本事業終了後に作成し、11月3日23時59分までに提出して頂きます。

会場:4階学習室1

対象者:委員長、副委員長、幹事

【第4部】

全体講演 時間30分

役員・スタッフに対し、ご自身の経験を踏まえたJC活動における責任とその心構えについてご講演頂きます。(30分)

内容として、①JCメンバーが果たすべき責任、②JCメンバーである心構え、③役員・スタッフが備えるべき心構えをお話し頂きます。

※ご講演頂いた内容に関する質疑応答は同日開催の懇親会にて行って頂きます。

講演テーマ:「JCメンバーである責任。役員・スタッフである責任。そして、その心構え」

講師:伊藤 邦夫 先輩

会場:4階学習室1

対象者:役員、スタッフ

◆事業実施後

【行動指針作成】 行動指針作成フォーマット

役員・スタッフセミナーを受講した全メンバーに、事業翌日となる10月31日に「行動指針作成フォーマット」を配信します。

11月3日23時59分までに作成し、総務財政委員会に提出して頂きます。

また、完成した行動指針は、提出期限の翌日となる11月4日に坂元専務理事に配信し、2020年度の各自の言動に対する意識付けとして利用頂きます。

目的達成の検証	目的に達した点	<p>① 第1部にて理事長講演を行い、スローガンのもと2020年度の運動方針と方向性だけでなく、委員会ごとの担いとその活動意義についてお話し頂けたことで、役員およびスタッフが活動の明確な方向性を理解し、責任感をもつことに繋がった。</p> <p>② 第2部・第3部にて各役職への講演を行い、自身の経験から役割とその重要性、また責任感についてお話し頂けたことで、各自の組織および委員会運営への自覚が芽生え、活動に臨むきっかけとなった。</p> <p>③ 第2部で、副理事長に講演をして頂いたことで、ともに委員会の運営について考え、向き合い、組織をともに作り上げる想いを共有でき、役割への責任感の醸成に繋がった。</p> <p>④ 第4部にて全体講演を行い、経験豊富な先輩から乙訓青年会議所のメンバーであることの責任と心構えについてお話し頂けたことで、先輩諸兄姉より脈々と受け継がれた誇りと伝統を次代に繋ぐことのできる人財へと成長するきっかけとなった。</p> <p>⑤ 第4部にて全体講演を行い、経験豊富な先輩から役員・スタッフであることの心構えについてお話し頂けたことで、組織の運動に寄与し、また委員会メンバーにも波及できる人財へと成長するきっかけとなった。</p> <p>⑥ 行動指針の作成をしたことで、役職に対する考え方の変化を実感し、さらに深く考え、向き合うきっかけとなった。</p>					
	達目しななかった点	なし					
今後の展望	本事業は、役員・スタッフ全員が理事長所信・スローガンに基づいた当該年度の乙訓青年会議所の方向性と、役員・スタッフとしての役割と責任を理解し、各自の自覚を醸成し、協働体制を構築することを目的とし継続して毎年開催されている。目的の主旨を十分に理解し、その中で各年度の状況に合わせた最適な事業内容を構築する必要がある。						
参加動員数	計画	一般	1	結果	一般	1	
		JC会員	31		JC会員	29	
		合計	32		合計	30	
予算	内部事業資金	¥7,500	外部導入資金	¥0	予算合計	¥7,500	
決算	内部事業資金	¥7,330	外部導入資金	¥0	決算合計	¥7,330	

2020年度事業報告		事業区分	公1	作成日	2020年6月13日	
会議・委員会		青少年育成委員会		委員長	山城 直也	
事業名		乙訓文化少年団団員募集				
実施日時		2020年 2月 1日より 4月30日まで				
実施場所		乙訓地域各所				
事業目的		乙訓文化少年団団員募集を通して、乙訓青年会議所の活動に対する理解を深め、団員を確保することを目的とする。				
事業の内容		年9回の乙訓文化少年団事業に参加する団員の募集 ①小学校・幼稚園・保育所にチラシを設置し、団員を募集する。 ②二市一町の施設にチラシを設置し、団員を募集する。 ③地域諸団体のイベントでPRし、団員を募集する。 ④乙訓新聞やホームページ、SNSに募集案内を掲示し、団員を募集する。				
目的達成の検証	目的に達した点	①乙訓地域の各小学校・幼稚園・保育園にチラシを設置したことで、乙訓文化少年団事業の理解を深めることと、認知して頂くことができた。 ②予定数40名に対し43名の応募があり、団員の確保を行うことができた。				
	達目的になかった点	①乙訓地域の各小学校・幼稚園・保育園にチラシを設置し、乙訓新聞でも募集を呼びかけたが、各施設が自粛を行い例年より目に触れる機会が減少し、チラシによる団員の確保には至らなかった。 ②地域諸団体のイベントでPRを行う予定だったが、開催が中止になりPRを行うことができなかった。 ③募集活動を当委員会主体で行ったため他のメンバーに対し募集事業を通して活動に対する理解を深めるに至らなかった。				
今後の展望		継続者率の高さから、乙訓文化少年団は子供たちに必要な事業であると地域の方々から認識されていると思いますが、より地域全体に認識して頂くために募集人数の設定や乙訓青年会議所の受け入れ態勢、また、より良い広報の手法を考えることで一人でも多くの参加者を募る必要があると考えます。				
参加動員数	計画	一般	40	結果	一般	43
		JC会員			JC会員	
		合計	40		合計	43
予算	内部事業資金	¥3,500	外部導入資金	¥0	予算合計	¥3,500
決算	内部事業資金	¥3,400	外部導入資金	¥0	決算合計	¥3,400

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年12月21日
会議・委員会	魅力拡大委員会		議長・委員長	佐々木 彰吾
事業名	乙訓JC説明会並びに新入会員募集事業			
実施日時	2020年1月1日～2020年12月31日			
実施場所	(会 場)ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO (所在地)長岡京市天神1-7-3			

事業目的	乙訓青年会議所の理念や活動の魅力を感じて頂き、入会に繋げることを目的とする。			
事業の内容	<p>①担当委員会を中心に各委員会と入会候補者の情報交換を積極的に行い、入会候補者のご紹介依頼、乙訓JC説明会の参加推進、入会までのサポートをともに行います。</p> <p>②紹介者から依頼があれば、候補者のところに出向き拡大活動を行います。</p> <p>③入会後には委員会での居場所を確保し積極的な事業参加ができるようにサポートします。</p> <p>④乙訓青年会議所の広報紙に毎月の進捗状況を掲載し、会員募集の記事を更新します。</p> <p>【説明会】 本年度は青年会議所の硬いイメージを払拭する考えのもと、理事長挨拶、委員長趣旨説明は簡素化し、候補者自己紹介、説明会スライドが終わり次第、懇親会へと移ります。なお、説明会スライドは毎月の委員会で話し合い、随時ブラッシュアップを行います。</p> <p>【内容】 ①開催時間を候補者の参加しやすい時間にするため、説明会と懇親会を同一会場である「ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO」で行います。 ②青年会議所の理念、運動また乙訓青年会議所の活動をスライドや映像を用いて説明します。 ③候補者に自己紹介を行って頂きます。 ④スライドが終わり次第、アナウンスにて懇親会へと移ります。</p> <p>【懇親会】 ①事前に紹介者と連携をしっかりと取り、候補者に応じて同業種・同職種または、近い年齢のメンバーに声掛けを前もって行っておき、候補者を孤立させないように準備します。 ②形式にとらわれず普段の会話で乙訓青年会議所の魅力やメリット、入会したことで自身の成長に繋がったエピソードなどを話してもらうように、事前にメンバーと打ち合わせを行っておく。 ③懇親会場の2Fも使用許可を取っていますので気の合うグループで候補者とのお話しに使用してください。 ④懇親会場ではメンバーの普段のフランクな写真を中心にプロジェクターにて映し出します。</p>			
目的達成の	目的に達した点	<p>①共感創造委員会にSNSやホームページ、乙訓TIMESにて開催の告知や拡大の進捗状況を掲載して頂き、特別会員やメンバーに拡大状況を共有することができ、入会候補者をご紹介して頂ける一助となった。</p> <p>②メンバー自身の魅力と乙訓青年会議所の魅力を候補者に伝え、乙訓青年会議所への入会に繋がられた。</p> <p>③説明会と懇親会を同一会場にて行い、説明会場から懇親会場への移動の手間を省くことで、懇親会まで参加して頂くことができ、より深く魅力を感じて頂けた。</p> <p>④例年の説明会と比べ、形式に囚われない雰囲気の説明会を行うことができ、入会候補者に警戒されず組織の魅力を発信する一助となった。</p>		

<p>検証</p>	<p>点達目 し的 な に か っ た</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響で、JC説明会の開催が中止となりその間会員拡大活動に対する意識の向上を図ることができなかった。 ②新型コロナウイルス感染症で説明会が年10回の開催予定が5回となり、過去10年で一番入会人数が低い結果となった。 ③理事会で進捗状況を詳細に報告して、理事全員に一年間会員拡大の責務を感じることで、候補者を連れてきて頂く目的があったが紹介しなかった理事メンバーが多かった。</p>					
<p>今後の展望</p>		<p>本年度はコロナ禍による社会情勢のなか説明会を開催するのが困難だったが9月以降、組織全体でソーシャルディスタンスを遵守したうえで、説明会を開催することができた。今後どのような社会情勢になってもしっかりとした対策を組織全体で行うとともに、乙訓青年会議所の魅力を伝えることが会員拡大に繋がると考えます。</p>					
<p>参加動員数</p>	<p>計画</p>	<p>一般</p>	<p>85名</p>	<p>結果</p>	<p>一般</p>	<p>25名</p>	
		<p>JC会員</p>	<p>190名</p>			<p>JC会員</p>	<p>99名</p>
		<p>合計</p>	<p>275名</p>			<p>合計</p>	<p>124名</p>
<p>予算</p>	<p>内部事業資金</p>	<p>¥32,248</p>	<p>外部導入資金</p>	<p>¥0</p>	<p>予算合計</p>	<p>¥32,248</p>	
<p>決算</p>	<p>内部事業資金</p>	<p>¥32,248</p>	<p>外部導入資金</p>	<p>¥0</p>	<p>決算合計</p>	<p>¥32,248</p>	

2020年度事業報告		事業区分	公1	作成日	2020年12月21日
委員会		青少年育成委員会		委員長	山城 直也
事業名		乙訓文化少年団事業			
実施日時		5月～9月動画配信・10月4日・11月1日・12月6日			
実施場所		Zoom・小倉神社裏山・淀川河川敷公園			
事業目的		<p>対外:子供たちが成功体験を通して、自信をもって挑戦する心を育むことを目的とする。</p> <p>対内:子供たちが何事にも挑戦できるように導ける人財となることを目的とする。</p>			
事業の内容		<p>動画配信 工作キット送付 植樹 凧あげ</p>			
目的達成の検証	目的に達した点	<p>5月 工作キット送付（壁掛けケース・キーホルダー） 低学年用、高学年用で難易度の違うものを送ることで工作を通じて挑戦する気持ちを育む一助となった。 母親に対し自由にメッセージを書くことで他者に対する思いやりの心を育む一助となった。</p> <p>6月 工作キット送付（スマートフォンスタンド） 低学年用、高学年用で難易度の違うものを送ることで工作を通じて挑戦する気持ちを育む一助となった。 父親に対し自由にメッセージを書くことで他者に対する思いやりの心を育む一助となった。</p> <p>7月 動画配信（天の川カレー） 一人では作ることが難しい料理を親子で協力して作ることを通して挑戦する気持ちを育む一助となった。</p> <p>8月 動画配信（リンゴジュースでピールゼリー） 一人でも作れる難易度の料理を作ることを通して挑戦する気持ちを育む一助となった。 家族に振る舞うことを通して思いやりの心を育む一助となった。</p> <p>9月 動画配信（マンガ肉） 普段なかなか作ることのない料理を見せることでわくわくする気持ちと物事に対する発想を広げる一助となった。</p> <p>10月 Zoom開催（絵しりとり、家にあるものしりとり） なかなか友達と会えない状況でもツールを使うことで仲間の顔を見ながら交流し絆を深める一助となった。</p> <p>11月 植樹 切り立った斜面で危険な所もあったがメンバーの手を借りて植樹を行い、挑戦する心と地域を思う心を育む一助となった。 団員同士で協力し仲間を思いやる心を育む一助となった。</p> <p>12月（凧あげ） 自由にデザインをすることで発想を広げる一助となった。 団員同士や青年会議所メンバーとともに凧あげをすることで交流し絆を深める一助となった</p>			
	点か達目 つし たな に	<p>①家族間で交流する動画が多かったため仲間ともに自信をもって挑戦する心を育むに至らなかった。</p>			

今後の展望	<p>コロナ禍の状況で思うように活動しにくかったですが、新たなツールと活動方法も発見できた。 今後は従来のやり方と今回のやり方を融合し、より学びある事業にできる可能性があります。</p>					
参加動員数	計画	一般	360	結果	一般	43
		JC会員	234		JC会員	49
		合計	594		合計	92
予算	内部事業資金	¥565,125	外部導入資金	¥0	予算合計	¥565,125
決算	内部事業資金	¥565,125	外部導入資金	¥0	決算合計	¥565,125

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年12月21日
会議・委員会	魅力拡大委員会		議長・委員長	佐々木 彰吾
事業名	FTセミナー			
実施日時	2020年9月30日、11月21日、11月22日			
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター2階 市民ギャラリー1・2 株式会社LIV SUBACO グラウンド			
事業目的	組織の本質についての理解と、強固な結束力を今後の活動への原動力に繋げることを目的とする。			
事業の内容	<p>【事前説明会】 ※新型コロナウイルス再燃によるWEB開催となった場合にも対応しております。 ※FT対象者の参加者が0名の場合、中止とします。</p> <p>①委員長挨拶(3分) ・組織の本質についての理解と、強固な結束力を作ることが、今後の活動への原動力に繋がることを説明する。</p> <p>②チーム分けの発表(5分) ・チーム分けの発表を行う。 FTセミナーチーム分け</p> <p>③FTセミナーの内容、当日スケジュール、注意事項の説明(5分) ※セレモニー暗唱資料、当日配布スケジュールは事前にデータ配信します。 <FTセミナーの内容> ・JCI Achieveセミナーを紹介する。 ・乙訓魅力発見ウォーキングを紹介する。</p> <p>④JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョン、JC宣言文並びに綱領の暗記テストの説明(5分) ・JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョンを和訳文章と併せて紹介する。</p> <p>⑤課題内容の説明(10分) ・コース説明を行う。 ・各ポイントで出題されるクイズの例を紹介し当日に向け予習して頂く。 ・ウォーキング時の注意事項の説明を行う。</p> <p>●課題 「乙訓魅力発見ウォーキング」におけるコースのチェックポイント</p> <p>乙訓魅力発見ウォーキング詳細ルール 乙訓魅力発見ウォーキングマップ FTセミナーチーム分け 乙訓魅力発見ウォーキングルートと担当表 チェックポイント参考資料 チェックポイントの調べ方とチェックポイントメモ ※「乙訓魅力発見ウォーキング」に必要な資料は【事前説明会】終了後にデータ配信します。</p> <p><ルール概要> ・チーム対抗戦。 ・制限時間は370分。 ・ルートに決められたチェックポイントは全て通過する。 ・各エリア(長岡京市、向日市、大山崎町)のチェックポイントをまわる。</p>			

- ・チェックポイント到着後、FTメンバーが事前に調べたチェックポイント情報をもとに同行メンバーをガイドする。
- ・各チェックポイントにてグループLINEで報告する。
- ・各チェックポイントにて出題されるクイズに正解したら、ポイント獲得。
- ・各チェックポイントで出題されるクイズはA、B、Cの3段階の難易度に分けられ、重要な箇所やクイズの難易度に応じて獲得ポイントは変わる。どのクイズを答えるかは選択制。
- ・クイズ出題者は各チェックポイントのクイズ出題担当の正副・理事チーム。
- ・勝敗は合計ポイントで順位を決める。
- ・負けたチームのメンバー全員には「恥ずかしかったエピソード」をテーマに1分間スピーチをする。
- ・参加者全員がJCポロシャツを着用する。
- ・チームカラーを決めて頂き、そのチームカラーのタオルを身に着けて頂きます。
- ・1チームに魅力拡大委員会からの参加者(河地委員、小林委員、森委員、村田幹事)を入れる。

⑥スケジュールの打ち合わせ(12分)

⑦各委員長からのエール(1分×6人)

【FTセミナー】 1日目

※新型コロナウイルス再燃によるWEB開催となった場合にも手法は対応しております。

※FT対象者の参加者が0名の場合、事業対象者を正会員に変更して、JCI Achieveは開催し、暗唱テストは中止とします。

①日本JC公式トレーナーの沼田 宏之トレーナーによる「JCI Achieve」を行う。(180分)

セミナープログラムガイド2020 JCI Achieve概要

※定員はグループワークもあることから30名となっていますので、フォロワーメンバーを優先して参加して頂きます。定員を超えた方はグループワークに参加はできませんが、会場後方に用意したイスに座って講座を聞いて頂けます。

②暗記テスト(24分) 6人×4分

・順に1人ずつ、JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョン、JC宣言文並びに綱領の暗記テストを行う。

・暗記テストの発表は既定の時間内で何度でもテストを行い、合格できなかったFTメンバーは最終日に再度暗記テストを行う。

・小西副理事長、佐々木委員長がそれぞれ合否判定を行う。

2日目

※新型コロナウイルス再燃の場合、中止とします。

※FT対象者の参加者が0名の場合、中止とします。

①指定されたコースを歩いて回る。(370分)

乙訓魅力発見ウォーキング詳細ルール 乙訓魅力発見ウォーキングマップ

FTセミナーチーム分け 乙訓魅力発見ウォーキングルートと担当表

※体調不良者がいた場合、救護班(西條副委員長)が対応致しますので、チーム内の魅力拡大委員会メンバーまでお知らせください

②順位発表(10分)

・各チェックポイントの問題の答え、獲得ポイントとともに順位を発表する。

③委員会まとめ(3分)

・JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョンの意味及び私たちが目指す活動の意味を伝える。

・JCI Achieveセミナーで学んだ青年会議所の基礎知識や目的、目指すべき方向性を伝える。

・乙訓魅力発見ウォーキングを通じて、乙訓地域の魅力を理解しただけでなく、苦楽をともにするチームメンバーとの絆が深まったことを伝える。

④理事長からの一言(3分)
 ・FTセミナー2日目についての総合評価をして頂きます。

⑤LOMナイト(134分)
 ・最終集合場所を懇親会会場に設定をします。LOMメンバー全員でFTメンバーを迎え入れる。
 ・同じグループのFTメンバーを同一テーブルに配置。そこに各委員長が均等になるように振り分け、FTメンバーを労って頂きます。
 ・懇親会費は3,000円となっております。

※懇親会の最中にFTメンバーから「FTセミナーを振り返って」をテーマに3分間スピーチをして頂きます。
 ※暗記テスト不合格者はFTセミナー2日目に再度テストをして頂きます。
 ※乙訓魅力発見ウォーキングの負けたチームメンバー全員に「恥ずかしかったエピソード」をテーマに1分間スピーチをして頂きます。

<事前説明会>
 ①事前説明会を行うことでFTメンバーがFTセミナーの趣旨と課題である乙訓魅力発見ウォーキングへの取り組みを理解して頂き、事前に各ポイントの情報を調べる一助となった。
 ②JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョンを和訳文章と併せて大まかな意味を説明したことで、大まかな意味を踏まえたうえで暗唱に取り組んでもらえた。
 ③FTメンバー所属委員会の委員長から、FTメンバーの日頃の頑張りや激励をして頂くことで、FTメンバーの参加意欲の向上の一助となった。

<FTセミナー1日目>
 ①JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョン、JC宣言文並びに綱領の暗唱を行うことで、例会や定例委員会でもしっかりとセレモニーを行える基礎となった。
 ②JCI Achieveセミナーを受講することにより、私たちが目指す活動の意味や青年会議所の基礎知識や目的を理解することができ、目指すべき方向性を明確にし、青年会議所活動への意識を高める一助となった。

<FTセミナー2日目>
 ①乙訓魅力発見ウォーキングにて、乙訓地域の各チェックポイントを歩き回ることによって、乙訓地域の魅力を理解して頂くとともに、苦楽をともにするFTメンバーとフォロワーメンバーとの絆が深まった。
 ②三分間スピーチでFTセミナーを振り返った感想を述べて頂くことで、FTセミナー受講メンバー同士の絆を再確認して頂き、今後の活動意欲に繋がった。
 ③委員会まとめを通じて青年会議所の基礎の学びや乙訓魅力発見ウォーキングを振り返ることで、達成感を感じてもらうとともに得た知識の定着をして頂いた。また、FTセミナーを通して絆が構築され、今後の活動意欲向上の一助となった。
 ④乙訓魅力発見ウォーキングにて、乙訓地域のことを自分から調べるだけでなく、同行メンバーのガイドをすることにより乙訓地域の理解がより一層深まった。
 ⑤乙訓魅力発見ウォーキングにて、正副、理事メンバーよりウォーキング参加者へクイズを出題して乙訓地域に対する理解や知識を教授することで、ウォーキング参加者の乙訓地域に対する理解がより一層深まった。
 ⑥乙訓魅力発見ウォーキングにて、乙訓地域の各チェックポイントのクイズに答えることで、乙訓地域と乙訓青年会議所の活動についての理解を深める機会となった。

目的に達した点

目的達成の検証

<p>達目的なにかかった点</p>	<p><FTセミナー></p> <p>①三分間スピーチでFTメンバー全員にFTセミナーを振り返って頂きたかったが、金子委員が用事で帰ってしまい、FTメンバー全員に振り返ることができなかった。</p> <p>②暗唱テストではFTメンバー全員が合格を予定していたが、担当チームと担当委員会ですら暗唱について指導することができず一部合格できないFTメンバーがいた。</p> <p>③FTセミナーでは2チームに分けることで、両チームで切磋琢磨できる環境とした。しかし、FTメンバー同士の交流のために合同の懇親会などFTメンバーを誘っての開催は行ったが、構築した絆を深めるまでは至らなかった。</p> <p>④JCI Achieveセミナーを受講することにより、FTメンバーへは青年会議所の基礎知識や目的を理解することができ、目指すべき方向性を明確にし、青年会議所活動への意識を高める一助となったが、FTメンバー以外で2年前の受講しているメンバーにとっては、意識向上に繋がらなかった。</p> <p>⑤魅力発見ウォーキングで乙訓地域の各チェックポイントを歩いて回ることにより、FTメンバーと多くの同行メンバーの絆の構築に繋がりましたが、長時間長距離のウォーキングということもあり無言が続き、絆の構築に繋がらなかったメンバーもいた。</p> <p>⑥乙訓魅力発見ウォーキングで正副、理事メンバーがウォーキング参加者へクイズを出題し、正副、理事メンバーの乙訓地域に対する理解や知識を教授して頂いたが、乙訓魅力発見ウォーキング参加者の乙訓地域に対する理解が深まらなかったメンバーもいた。</p>					
<p>今後の展望</p>	<p>青年会議所に入会したメンバーが活動の方向性を知り、今後の活動の意義を見出すためにも、次年度以降も継続して新人研修を行う必要がある。</p>					
<p>参加動員数</p>	<p>計画</p>	<p>一般</p>	<p>1</p>	<p>結果</p>	<p>一般</p>	<p>0</p>
		<p>JC会員</p>	<p>44</p>		<p>JC会員</p>	<p>32</p>
		<p>合計</p>	<p>45</p>		<p>合計</p>	<p>32</p>
<p>予算</p>	<p>内部事業資金</p>	<p>¥65,932</p>	<p>外部導入資金</p>	<p>¥0</p>	<p>予算合計</p>	<p>¥65,932</p>
<p>決算</p>	<p>内部事業資金</p>	<p>¥65,932</p>	<p>外部導入資金</p>	<p>¥0</p>	<p>決算合計</p>	<p>¥65,932</p>

2020年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2020年12月13日
会議・委員会	信頼構築委員会		議長・委員長	佐伯 昌裕
事業名	12月卒業式・忘年会			
実施日時	2020年12月10日 卒業式16:21～18:33 忘年会19:00～21:00			
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都 2階 平安の間			

事業目的	<p>【卒業式】 卒業生のこれまでの雄姿や青年会議所活動に対する意識を継承し、組織のさらなる向上へと繋げることを目的とする。</p> <p>【忘年会】 現役メンバーのさらなる活動意欲向上となるよう、一年間の感謝を伝え、先輩諸兄姉とメンバーとのさらなる協力関係に繋げることを目的とする。</p>
	<p>【卒業式】 受付にて卒業式パンフレットを配布</p> <p>①開会宣言</p> <p>②卒業生一同入場 ・入口より花道を通り入場する。 ・舞台前にて、振り返って頂き一礼の後、着席して頂く。</p> <p>③オープニング映像</p> <p>④卒業生登壇・紹介 ・読み上げられた卒業生が花道を通り登壇する。 ・会場後方中央よりレッドカーペットを通り入場し登壇する。 ・登壇後、一礼し所定の位置に移動する。 ・登壇時、卒業生自身が選曲した入場曲を流す。 ・登壇時、卒業生紹介映像を投影する。</p> <p>⑤卒業スピーチ ・舞台中央にて卒業生にスピーチをして頂く。 ・スピーチ終了後、卒業生が青年会議所活動のなかで出会われた方からのビデオレターを流す。 ・スピーチ、撮影を終えた卒業生は壇上の所定の席に着座にて待機する。</p> <p>⑥花束贈呈 ・壇上の卒業生に花束を贈呈する。 ・贈呈者1名に登壇して頂く。 ・贈呈者が卒業生に一言お祝いの言葉を述べ、花束を贈呈する。 ・花束贈呈後、贈呈者と卒業生が写真撮影を行う。 ・写真撮影後、卒業生は所定の位置に着席し、贈呈者は降壇し着席する。 ・贈呈者は、各卒業生に縁のある方から選定する。 ※④→⑤→⑥の流れを卒業生6名繰り返す。</p> <p>⑦卒業証書授与・記念品贈呈 ・達城理事長に登壇後、卒業生代表者が所定の位置に移動する。 ・卒業生代表者が卒業証書、記念品を達城理事長から受け取る。</p> <p>⑧卒業記念品寄贈 ・卒業生から、乙訓青年会議所に対して記念品を寄贈して頂く。 ・達城理事長が卒業生代表者から記念品を受け取る。 ・受領後、達城理事長は降壇、卒業生代表者は所定の椅子に着席する。</p> <p>⑨祝電披露 ・卒業生に届いた祝電を読み上げる。 ・祝電が多数の場合、読み上げは1分とし、会場受付に掲示する。</p>

事業の内容

⑩送辞

- ・現役メンバー代表者と卒業生代表者が所定の位置に移動する。
- ・現役メンバー代表者による送辞を読み上げる。
- ・送辞終了後、現役メンバー代表者から卒業生代表者に送辞を授与する。

⑪答辞

- ・卒業生代表者による答辞を読み上げる。
- ・答辞終了後、卒業生代表者から現役メンバー代表者に答辞を授与する。
- ・現役メンバー代表者は席に戻り、卒業生代表者は壇上の所定の椅子に着席する。

⑫卒業生退場

- ・卒業生全員写真撮影後、卒業生が壇上から順番に降壇する。
- ・現役メンバー側から降壇。
- ・特別会員側3名、現役メンバー側3名それぞれ分かれて会場を一周して各個人にご挨拶をして頂く。

(※握手はせずに、エアーハイタッチにて感謝の気持ちをお伝えください。)

- ・最後に舞台中央に卒業生全員が集合して一礼し、レッドカーペットの端まで進む。

⑬閉会宣言

【忘年会】忘年会のみの参加者の席に卒業式パンフレットを配布

①開会宣言

②オープニング映像

③2020正副・役員紹介

- ・坂元専務理事より2020役員の紹介をして頂く。
- ・紹介された役員が1名ずつ登壇し、舞台中央で一礼後、所定の位置に移動する。
⇒紹介時は名前を読み上げ後、約10秒間の間隔をあける。(各所定の位置に着くぐらい)

- ・登壇時、達城理事長が選曲したBGMを流す。

④理事長挨拶

- ・達城理事長より1年間の活動の振り返りなどをご挨拶頂く。

⑤オブザーバー紹介

- ・司会田中委員より、オブザーバーを紹介する。

⑥乾杯

- ・第16代理事長 蔦屋 重直 様 より乾杯のご発声を頂く。

⑦食事歓談および卒業式で使用した映像披露

⑧2020新入会員紹介

- ・魅力拡大委員会、佐々木委員長より1人ずつ紹介して頂く。
- ・紹介された新入会員が1名ずつ登壇し、舞台中央で一礼後、所定の位置に移動する。

- ・登壇後、新入会員代表者より一言スピーチして頂く。

⑨2020年度出向者紹介

- ・坂元専務理事より2020年度出向者の紹介をして頂く。
- ・紹介された出向者が1名ずつ登壇し、所定の位置に移動する。
- ・登壇後、出向者代表者より一言スピーチして頂く。

⑩2021年度役員紹介

- ・2021年度上原専務理事予定者より2021年度役員の紹介をして頂く。
- ・紹介された役員が1名ずつ登壇し、舞台中央で一礼後、所定の位置に移動する。
⇒紹介時は名前を読み上げ後、約10秒間の間隔をあける。
- ・全員登壇後、小西理事長予定者より次年度に向けてのご挨拶を頂く。

- ・小西理事長予定者より順番に降壇

⑪若い我等斉唱

- ・その場で起立し、若い我等の音源を流す。

⑫一本締め

- ・ステージに登壇後、坂元専務理事より締めの挨拶をして頂く。

⑬閉会宣言

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【卒業式】</p> <p>①オープニング映像において、これまでの事業や活動風景、卒業生の今までの活動の様子を振り返ったことで、感動的で達成感にあふれるフィナーレの一助となった。</p> <p>②卒業生登壇映像において、卒業生一人ひとりの軌跡をたどり、輝いた姿を投影しながら、レッドカーペット上を入場したことで、それぞれの活動を懐かしみ、雄姿を見送ることの一助となった。</p> <p>③卒業生スピーチにおいて、6名の卒業生全員からのスピーチを聞くことで、それぞれが活動で得た誇りと成長を感じ、雄姿を目に焼き付け、青年会議所活動に対する意識を継承する一助となった。</p> <p>④花束贈呈において、卒業生が特にかかわりの深いメンバーからの送る言葉と花束を受け取ることで、卒業生、贈呈者、見ていたメンバーに感動的なフィナーレの一助となった。</p> <p>⑤送辞・答辞において、現役メンバーの代表者と卒業生代表者の想いを感じることで、青年会議所活動の意識を継承する一助となった。</p> <p>【忘年会】</p> <p>①オープニング映像において、2020年度の事業を振り返り、ともに活動した仲間との時間を思い出し参加者の絆がより強固なものとなる一助になった。</p> <p>②2020年度役員紹介・理事長挨拶において、本年度乙訓青年会議所を支えてきた役員の姿と達城理事長の最後の公式挨拶を聞いたことで、仲間としての絆が深まる一助となった。</p> <p>③2020年度新入会員紹介において、本年度入会した4名のメンバーを再認識し、新たに仲間となったメンバーのスピーチを聞いたことで参加者の絆がより強固なものとなる一助となった。</p> <p>④2020年度出向者紹介において、本年度出向したメンバーの姿を見て、出向者代表スピーチを聞いたことで、出向した者同士や出向を支えてくれたメンバーの絆が強固となる一助となった。</p> <p>⑤2021年度役員紹介において、新たな年を迎えスタートを切る組織の正副メンバーを見て、小西理事長予定者のスピーチを聞いたことで、次年度も一丸となって取り組む姿勢と参加者の絆が強固となる一助となった。</p>				
	か達目つした点	①卒業式・忘年会ともに参加員数計画に達しなかった。				
今後の展望	今後も卒業されるメンバーを現役メンバーがしっかりと見送り、想いを継承していく必要があると考えます。					
参加動員数	計画	一般	66	結果	一般	37/42
		JC会員	43		JC会員	37/38
		合計	108		合計	74/80
予算	内部事業資金	¥460,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥460,000
決算	内部事業資金	¥458,172	外部導入資金	¥0	決算合計	¥458,172

正副理事長・常任理事・常設委員会

1. 正副（主たる事業）

- ①各委員会の活動への連携・支援
- ②各会議における理事の職務執行の監督
- ③会員拡大活動への連携と協力
- ④まちづくり事業、青少年育成事業への参加・協力
- ⑤災害時における支援への参加・協力
- ⑥8月例会・納涼会の開催

2. 常任理事（主たる事業）

- ①各委員会の活動への連携・支援
- ②各会議における理事の職務遂行の促進
- ③会員拡大活動への連携と協力
- ④まちづくり事業、青少年育成事業への参加・協力
- ⑤災害時における支援への参加・協力
- ⑥出向先役員としての職務遂行

3. 信頼構築委員会（主たる事業）

- ①1月例会・新春交歓会の開催
- ②3LOM合同交流会の開催（亀岡開催・中止）
- ③12月卒業式・忘年会の開催
- ④各種懇親会の設営・運営
- ⑤家族交流会の開催（中止）
- ⑥会員及び特別会員との親睦に関する事項
- ⑦同室委員会への連携と協力

4. 共感創造委員会（主たる事業）

- ① 京都ブロック協議会会長公式訪問の開催
- ② 4月メモリアル100%出席例会の開催（WEB）
- ③ 10月例会の開催
- ④ 行政・地域諸団体の情報の収集及び管理
- ⑤ 青年会議所活動及び地域活動の外部発信並びに会報「乙訓新聞」の制作・発行及び管理（年12回）
- ⑥ 公式ホームページの管理
- ⑦ LOM内外各種事業の記録データの管理
- ⑧ LOM外情報に関する内部発信
- ⑨ 各事業案内の取りまとめ及び参加促進に関する事項
- ⑩ JCI・公益社団法人日本青年会議所・近畿地区協議会・京都ブロック協議会・各地青年会議所に関する案内・参加動員に関する事項
- ⑪ 同室委員会への連携と協力

5. 人財育成委員会（主たる事業）

- ① 3月例会の開催（中止）
- ② 7月例会の開催（WEB）
- ③ 11月オープン例会の開催
- ④ 公益社団法人日本青年会議所・協働運動の実践、連携、推進
- ⑤ 公益社団法人日本青年会議所セミナープログラムの受講と推進
- ⑥ 同室委員会への連携と協力

6. 魅力拡大委員会（主たる事業）

- ① 2月例会の開催
- ② 会員拡大活動に関する情報管理と更新
- ③ 会員拡大活動の実施と検証
- ④ 入会説明会の開催
- ⑤ 新入会員の入会に至るまでのサポート
- ⑥ 新入会員の入会後のサポート
- ⑦ 新入会員入会式の設営・運営
- ⑧ FTセミナーの開催
- ⑨ 同室委員会への連携と協力

7. 青少年育成委員会（主たる事業）

- ① 6月オープン例会の開催（WEB）
- ② ケイジャーズカップ実行委員会への連携
- ③ 乙訓文化少年団の運営
- ④ 乙訓地方小学生駅伝大会委員会への連携
- ⑤ 広域な連携を推進し市民主導へ導くための事業の共同開催
- ⑥ 防災ネットワークの構築及び防災意識を醸成する事業開催
- ⑦ 二市一町の行政・各諸団体との連携
- ⑧ 同室委員会への連携と協力

8. 地域未来創造委員会（主たる事業）

- ① 5月例会の開催（WEB）
- ② 9月例会の開催
- ③ 広域な連携を推進し市民主導へ導くための事業の開催
- ④ 各種選挙における公開討論会の実施
- ⑤ 二市一町の行政・各諸団体との連携
- ⑥ 同室委員会への連携と協力

9. 総務財政委員会（主たる事業）

- ① 役員・スタッフセミナーの開催、事務事項説明資料の作成と配布
- ② 12月例会の開催
- ③ 総務及び庶務に関する事項
- ④ 事務局の管理運営に関する事項
- ⑤ 会員名簿及び基本資料の作成
- ⑥ 会員の褒賞・表彰及びブロック等への事業褒賞申請に関する事項
- ⑦ 総会及び理事会・正副理事長会議の設営・運営
- ⑧ 議案の管理に関する事項
- ⑨ 財務、会計一般に関する事項
- ⑩ 財務、コンプライアンス会議の設営・運営

(役職:予定者省略)

月	日	曜日		場所	人数	出席者
2019						
8月	23	金	飛竹会常任幹事会	ベンジャミンステーキハウス京都	3	達城理事長他
9月	4	水	乙訓青松会役員会	竹香	6	達城理事長他
	14	土	京都ブロック(協)会長面談(副会長・委員長)		1	小西副理事長
	22	日	京都ブロック(協)第1回役員候補者会議		1	小西副理事長
	25	水	第36回歴代理事長会	うお嘉	10	達城理事長他
	27	金	京都ブロック(協)第2回正副会長候補者会議		1	小西副理事長
	30	月	京都ブロック(協)第1回理事長候補者ミーティング	ブラザホテル吉翠苑	2	達城理事長他
10月	6	日	京都ブロック(協)第3回正副会長候補者会議		1	小西副理事長
			京都ブロック(協)第2回役員候補者会議		1	小西副理事長
	13	日	第68回全国大会富山大会 2020年度理事長スタートアップセッション	富山県民会館	1	達城理事長
			第68回全国大会富山大会 2020年度組織運営セミナー	富山県民会館	1	坂元専務理事
	15	火	京都ブロック(協)第4回正副会長候補者会議		1	小西副理事長
	18	金	乙訓青年会議所飛竹会 懇親会	長楽館	16	達城理事長他
	23	水	京都ブロック(協)第3回役員候補者会議		1	小西副理事長
	25	金	京都ブロック(協)第1回会員会議所候補者会議	ANAクラウンプラザホテル	4	達城理事長他
			京都ブロック(協)大成会～ブロック報告会並びに伝達式～	ANAクラウンプラザホテル	30	達城理事長他
	29	火	青松会 2019年度総会	うお嘉	11	達城理事長他
30	水	役員・スタッフセミナー	長岡京市中央生涯学習センター	30	達城理事長他	
11月	10	日	長岡京市ガラシャ祭	長岡京市	21	達城理事長他
	12	火	京都ブロック(協)第5回正副会長候補者会議		1	小西副理事長
	18	月	京都ブロック(協)第4回役員候補者会議		1	小西副理事長
	26	火	京都ブロック(協)第2回会員会議所候補者会議		3	達城理事長他
	30	土	京都会議臨時事務所 事務所開き	京都市内(花見小路四条上がる)	2	達城理事長他
12月	8	日	京都ブロック(協)第6回正副会長候補者会議		1	小西副理事長
	13	金	京都ブロック(協)第5回役員候補者会議		1	小西副理事長
	19		近畿地区協議会2019年度「大納会」	京都ホテルオークラ	4	上原常任理事他
	22	日	京都ブロック(協)第3回会員会議所候補者会議			達城理事長他
			京都ブロック(協)2020年度第1回候補者委員会		20	達城理事長他
京都ブロック(協)合同懇親会					達城理事長他	
26	木	事務局納め	JCルーム	13	達城理事長他	
2020						
1月	6	月	事務局開き	JCルーム	16	達城理事長他
			長岡京市年賀交歓会	長岡京市立産業文化会館1階		達城理事長他
	7	火	(一社)宇治青年会議所 新春茶会(第45回初釜)	宇治市営茶室 対鳳庵	2	達城理事長他
	8	水	1月例会・新春交歓会	ハイアットリージェンシー京都	39	達城理事長他
	9	木	(公社)京都青年会議所 1月例会並びに新春交歓会	京都ホテルオークラ	16	達城理事長他
	10	金	(一社)城陽青年会議所 1月新年例会	文化パーク城陽	17	達城理事長他
	11	土	(一社)山城青年会議所 1月新春例会	けいはんなプラザ	14	達城理事長他
	12	日	青松会 初釜	上田先生宅	4	達城理事長他
	13	月	京都ブロック(協)第1回役員会議	乙訓	4	達城理事長他
	14	火	(一社)亀岡青年会議所 1月新年例会並びに賀詞交歓会	ガレリア亀岡	20	達城理事長他
	15	水	(一社)宇治青年会議所 1月例会・新春交流会	花やしき 浮舟園	24	達城理事長他
	23	木	(一社)京丹後青年会議所 新年例会	アグリセンター大宮	18	達城理事長他

	27	月	(一社)高槻青年会議所 新年互礼会	アンシェルテ・マリアージュ	6	達城理事長他
	17~19		日本JC京都会議			達城理事長他
	17	金	近畿地区(協)第1回会員会議所	国立京都国際会館	2	達城理事長他
			近畿地区ナイト		8	達城理事長他
	18	土	公益社団法人日本青年会議所 総会	国立京都国際会館	2	達城理事長他
			LOMナイト		33	達城理事長他
	25	土	京都ブロック(協)第1回会員会議所会議	亀岡	3	達城理事長他
	27	月	乙訓圏障がい者自立支援協議会 第4回就労支援部会	乙訓保健所	1	林委員長
		水	厄年参り・懇親会	石清水八幡宮	6	坂元専務理事他
	30	木	第13回桂川流域クリーン大作戦 実施説明会	淀川三川合流域「さくらであい館」	2	林委員長他
	31	金	通常総会・京都ブロック(協) 会長訪問	長岡京市中央生涯学習センター	34	達城理事長他
2月	3	月	乙訓JC説明会	ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO	25	達城理事長他
	4	火	第30回乙訓地方小学生駅伝大会 第3回委員会総会	乙訓総合庁舎	1	山城委員長
	7	金	飛竹会常任幹事会	京料理 やまの	2	達城理事長他
	8	土	京都乙訓ロータリークラブ創立50周年記念式典	ホテルグランヴィア京都	2	達城理事長他
	14	金	(一社)高槻青年会議所 2月例会	高槻現代劇場大ホール	7	達城理事長他
	16	日	京都ブロック(協)第2回正副役員会議		1	小西副理事長
	20	木	第6回「親育ネットおとくに」協議会	乙訓総合庁舎	1	山城委員長
	22~23		金沢会議		7	達城理事長他
	27		桂川流域ネットワーク		1	中野副委員長
	29	土	京都ブロック(協)第2回会員会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	3	達城理事長他
3月	1	日	桂川クリーン大作戦	桂川流域		中止
			第6回 ながおかきょう福祉まつり	長岡京市中央生涯学習センター		中止
	2	月	第2回乙訓JC説明会	ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO		中止
			乙訓圏障がい者自立支援協議会 第5回就労支援部会	乙訓保健所	1	林委員長
	4	水	第45回乙訓JCじゃがいもクラブ例会ゴルフコンペ	亀岡カントリークラブ		延期
	9	月	第30回乙訓地方小学生駅伝大会 幹事会	乙訓総合庁舎		中止
	14	土	2020年度 3LOM交流事業	保津河川敷グラウンド		中止
			ケイジャーズカップ 決勝大会			中止
	15	日	乙訓青松会 長岡天満宮 梅花祭	長岡天満宮		中止
	21	土	京都ブロック(協)第3回役員会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
	28	土	公益社団法人日本青年会議所 第163回総会	東京ビッグサイト		参加自粛
			青松会15周年記念茶会			延期
	29	日	京都ブロック(協)第3回会員会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	3	達城理事長他
4月	6	月	乙訓JC説明会			中止
			乙訓文化少年団4月事業			中止
			まちづくり実行委員会	長岡京市中央生涯学習センター		中止
	7	火	2020年度 新時代のリーダー育成委員会 オープン委員会 「新時代のリーダーあり方検討会」中部	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	20	達城理事長他
	17	金	飛竹会幹事会・総会・懇親会	ホテル日航プリンセス京都		中止
	21	火	京都ブロック(協)第4回正副会長会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
	22	水	京都ブロック(協)第5回役員会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
	24	金	第4回大山崎町地域創生推進会議	大山崎町役場		延期
	25	土	京都ブロック協議会 JCムーブメント創造委員会 広報戦略セミナー①	WEB上(ZOOM)	17	達城理事長他
	29	水	京都ブロック(協)第4回会員会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	4	達城理事長他

5月	2	土	京都ブロック協議会 JCムーブメント創造委員会 広報戦略セミナー②	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	17	達城理事長他
	8	金	乙訓JC説明会			中止
			第3回乙訓まちづくり実行委員会			中止
	9	土	京都ブロック協議会 JCムーブメント創造委員会 広報戦略セミナー③	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	15	達城理事長他
			京都ブロック(協)第5回正副役員会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
	10	日	乙訓文化少年団 5月事業			中止 ※工作キットを郵送
	15	金	京都ブロック協議会 国際貢献委員会 第2回SDGsクリニック(オープン委員会)	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	18	達城理事長他
	17	日	第48回京都ブロック大会舞鶴大会			延期
	20	水	京都ブロック(協)第5回役員会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
	21	木	近畿地区交流ゴルフコンペ・近畿オープンゴルフ選手権 チャリティーゴルフ	橋本カントリークラブ		延期
	30	土	京都ブロック(協)第5回委員会会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	4	達城理事長他
	6月	1	月	乙訓JC説明会		
6		土	乙訓文化少年団6月事業			中止 ※工作キットを郵送
7		日	ポテトカップチャリティーゴルフコンペ			中止
19		金	京都ブロック協議会 国際貢献委員会 第3回SDGsクリニック(オープン委員会)	WEB上(ZOOMミーティングルーム)		達城理事長他
21		日	京都ブロック(協)第6回正副会長会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
24		水	いのちのパスプロジェクト(献血)	イオンモール桂川	23	達城理事長他
28		日	京都ブロック(協)第6回委員会会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	5	達城理事長他
29		月	第1回人財育成委員会オープン委員会	WEB上(ZOOMミーティングルーム)		達城理事長他
7月	1	水	第46回 乙訓JCじゃがいもクラブ例会ゴルフコンペ			中止
	5	日	乙訓文化少年団 7月事業			中止 ※動画配信
	2	木	理事長監事選出委員選挙 期日前投票日	長岡京市立産業文化会館	24	坂元専務理事他
	6	月	JC宣言文改訂オンライン議論及び大規模ウェビナートライアル	オンライン上(WEBEX)	1	達城理事長他
	8	水	理事長監事選出委員選挙 投票日	長岡京市立産業文化会館	21	坂元専務理事他
	10	金	近畿地区(協)第2回委員会会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	達城理事長
	13	月	飛竹会常任幹事会	DISCOVER KYOTO NAGAOAKAKYO	5	達城理事長他
	15	水	京都ブロック(協)第7回正副役員会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
			第48回長岡京市社会福祉大会(感謝状贈呈式)	長岡京市立中央公民館 3階 市民ホール	1	田中監事
	16	木	第1回「親育ネットおとくに」協議会	京都府乙訓総合庁舎	1	山城委員長
	17	金	JC宣言文改訂議論～思いを言葉に。全国692理事長シンポジウム～ 並びにシンポジウム「2020年代の協議会モデル」	オンライン上(WEBEX)	1	達城理事長
	18~19		公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス・LOMナイト	横浜		中止
	22	水	桂川クリーンネットワーク会議	長岡京市立中央公民館	2	林委員長他
	25	土	京都ブロック協議会 第7回委員会会議所会議	長岡京市立中央公民館 3階市民ホール	26	達城理事長他
	27	月	京都ブロック協議会 オンラインサロン【JCWOMEN】 女性会員拡大セミナー	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	19	達城理事長他
	28	火	公益社団法人乙訓青年会議所 決起大会2020 in 乙訓	焼肉 味楽園	27	達城理事長他
	29	水	第1回長岡京市行財政健全化推進委員会	長岡京市役所	1	嶋田委員長
8月	1~2		乙訓文化少年団 8月事業			中止 ※動画配信
	3	月	京都ブロック協議会 2020年度国際貢献委員会 OPEN委員会	WEB上(ZOOMミーティングルーム)		達城理事長他
	10	月	第2回 乙訓JC説明会	ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO	11	達城理事長他
	6	木	理事選挙 期日前投票日	長岡京市立産業文化会館	35	坂元専務理事他
	12	水	理事選挙 投票日	長岡京市立産業文化会館	13	坂元専務理事他
	17	月	第2回「親育ネットおとくに」協議会	京都府乙訓総合庁舎	1	山城委員長
	20		募金活動		10	藤田副理事長他
	26	水	日本アカデミー オリエンテーション・WEB名刺交換会	WEB開催	1	小西副理事長

	29	土	京都ブロック協議会 アカデミー事業	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	18	達城理事長他
9月	1	火	乙訓圏域障がい者自立支援協議会 第2回就労支援部会	乙訓総合庁舎	1	林委員長
	7	月	乙訓JC説明会	ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO	14	達城理事長他
	9	水	防災セミナー	長岡京市中央生涯学習センター2F ギャラリー	23	達城理事長他
	12	土	乙訓DREAMフラッグプロジェクト		30	達城理事長他
			乙訓文化少年団 9月事業			中止 ※動画配信
	13	日	京都ブロック(協)第8回正副役員会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	1	小西副理事長
			京都ブロック協議会 国際貢献事業 「みんな知ってて、みんな知らない～世界の現状と明日からできる国際貢献」	WEB上(ZOOMウェビナー使用)		達城理事長他
	14	月	第3回「親育ネットおとくに」協議会	乙訓総合庁舎	1	山城委員長
	19	土	卒業生主催委員会対抗ちはやふる大会	京都 嵐山温泉 渡月亭	26	達城理事長他
	19~20		日本アカデミー 第1部	WEB開催	1	小西副理事長
	20	日	京都ブロック(協)第8回委員会議所会議	WEB上(ZOOMミーティングルーム)	2	達城理事長他
	26	土	全国大会(札幌)	WEB開催	26	達城理事長他
	29	火	歴代理事長会	うお嘉	10	達城理事長他
30	水	FTセミナー事前説明会		32	達城理事長他	
10月	4	日	乙訓文化少年団 10月事業			中止 ※動画配信
	5	月	乙訓JC説明会	ディスカバー長岡京 1FまちバルSUBAKO	14	達城理事長他
	2	金	第1回臨時総会	長岡京市中央生涯学習センター 2階 市民ギャラリー	31	達城理事長他
	7	水	第4回「親育ネットおとくに」協議会	京都府立向陽高等学校	1	山城委員長
			乙訓JCじゃがいもクラブ役員会	やまなか	5	達城理事長他
	9	金	乙訓青年会議所飛竹会 懇親会	錦水亭	22	達城理事長他
	23	金	第48回京都ブロック大会舞鶴大会	WEB上(ZOOMウェビナー使用)	29	達城理事長他
	18	日	京都ブロック(協)第8回正副役員会議	WEB開催	1	小西副理事長
	23	金	京都ブロック(協)第9回委員会議所会議		3	達城理事長他
			京都ブロック(協) 委員会報告会並びに本今年度合同懇親会			中止
26	土	公益社団法人日本青年会議所総会	WEB開催	1	達城理事長	
11月	1	日	乙訓文化少年団 11月事業		29	達城理事長他
	2	月	乙訓JC説明会		16	達城理事長他
	3~7		JCI世界会議		7	達城理事長他
	5	木	公益社団法人日本青年会議所 第165回総会	パシフィコ横浜ノース 及び WEB上	1	達城理事長
	6	金	日本アカデミー 第2部	崎陽軒本店	1	小西副理事長
	14	土	京都ブロック(協)第10回正副役員会議		1	小西副理事長
	25	水	第46回 乙訓JCじゃがいもクラブ例会ゴルフコンペ		10	田中監事他
	28	土	京都ブロック(協)第9回委員会議所会議		3	達城理事長他
12月			長岡京市ガラシャ祭	長岡京市		中止
	4	金	第2回臨時総会(候補日)		31	達城理事長他
			乙訓文化少年団 12月事業		21	達城理事長他
	10	木	12月卒業式・忘年会		45	達城理事長他
			近畿地区協議会 第3回委員会議所会議		1	上原常任理事他
	26	土	事務局納め	JCルーム	15	達城理事長他

公益社団法人乙訓青年会議所
収支決算書
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(第1法)		(単位:円)		
科目	決算額	予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	963	5,000	△ 4,037	
特定資産利息収入	963	5,000	△ 4,037	
②入会金収入	1,090,000	1,700,000	△ 610,000	
新入会員入会金収入	180,000	720,000	△ 540,000	@60,000円×3名
特別会員入会金収入	910,000	980,000	△ 70,000	@70,000円×13名(2019年度卒業生14名 内1名未入会)
③会費収入	6,050,000	7,270,000	△ 1,220,000	
正会費収入	5,850,000	6,370,000	△ 520,000	@130,000円×45名(除名者数3名) ※予算時点では49名(1月入会含む)で計算
新入会員会費収入	200,000	900,000	△ 700,000	3名入会(1月130,000円・10月40,000円・11月30,000円)
賛助会員会費収入	0	0	0	
④事業収入	0	400,000	△ 400,000	
事業費繰上収入	0	0	0	
登録料収入	0	400,000	△ 400,000	コロナウイルス蔓延に伴い文化少年団の登録料がなくなったため
預り金収入	0	0	0	
⑤補助金等収入	0	0	0	
国庫補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
民間補助金収入	0	0	0	
国庫助成金収入	0	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	0	
民間助成金収入	0	0	0	
⑥寄付金収入	100,000	750,000	△ 650,000	
飛竹会寄付金収入	0	0	0	
歴代理事長会寄付金収入	0	0	0	
その他寄付金収入	100,000	750,000	△ 650,000	乙訓DREAMフラッグプロジェクト協賛金
⑦雑収入	351,400	41,500	309,900	
受取利息収入	18	1,500	△ 1,482	
京都ブロック協議会	0	0	0	
その他雑収入	351,382	40,000	311,382	乙訓JCじゃいもクラブ事務局費20,000円、JCカード手数料、ジャンパー・ポロシャツ販売費
事業活動収入計	7,992,363	10,166,500	△ 2,174,137	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	2,580,888	4,172,000	△ 1,591,112	
総務財政委員会	135,056	157,500	△ 22,444	役員・スタッフセミナー、12月例会
正副	21,240	50,000	△ 28,760	8月例会・納涼会
信賴構築委員会	786,714	790,000	△ 3,286	1月例会・新春交歓会、12月卒業式・忘年会
共感創造委員会	8,520	100,000	△ 91,480	4月100%出席例会、10月例会
人財育成委員会	300,087	400,000	△ 99,913	3月例会(中止)、7月例会、11月オープン例会
魅力拡大委員会	125,409	131,000	△ 5,591	2月例会、入会説明会、FTセミナー
青少年育成委員会	708,637	1,133,500	△ 424,863	6月オープン例会、乙訓文化少年団、乙訓文化少年団募集、防災セミナー
地域未来創造委員会	495,225	1,150,000	△ 654,775	5月例会、9月例会、乙訓DREAMフラッグプロジェクト
40周年特別委員会	0	0	0	01月新春、4月メモリアル例会、9月例会、記念誌の発行、40周年PR
JAYCEE育成委員会	0	0	0	02月例会、6月例会、11月例会、FTセミナー
JCネットワーク構築	0	0	0	010月例会、12月卒業式
防災教育委員会	0	0	0	05月オープン、8月例会、文化少年団(募集含む)
広報戦略委員会	0	0	0	03月オープン、7月例会
特別事業費支出	0	260,000	△ 260,000	災害時拠出金(未使用)、公開討論会(未開催)、3LOM合同交流会(中止)
預り金支出	0	0	0	
②管理費支出	4,890,015	5,185,257	△ 295,242	
会議費支出	128,835	407,000	△ 278,165	総会、総務、正副、理事会会場費
会議費当支	1,860,000	1,860,000	0	事務局員 @155,000円×12ヶ月
退職給付費用	108,500	108,500	0	月額給付155,000円×70%を毎年積立
福利厚生費支出	594,672	350,000	244,672	事務局員社会保険料、対内向けの慶弔金等
旅費交通費支出	95,040	100,000	△ 4,960	事務局員交通費
通信・発送費支出	614,966	474,102	140,864	電話代、切手、定例発送 ※正会員への定例発送(サーキュラー・チラシ)は無
消耗品支出	198,282	260,000	△ 61,718	2020年度スローガン幕、未来ビジョン横断幕、封筒、文具他
リース料支出	93,312	93,312	0	コピー機1年間 7,200円×1.08×12ヶ月 60ヶ月満了後年額8,640円(税別)
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	39,830	85,000	△ 45,170	総会資料印刷費、コピー機印刷費等 ※2020年度基本資料の作成は無
光熱水料費支出	0	0	0	
賃借料支出	324,064	335,367	△ 11,303	@27,064×1ヶ月、27,000円×11ヶ月
インフォメーション開	220,758	197,000	23,758	おとくに新聞、乙訓ホームページ変更料、サーバー・ドメイン更新料
保険料支出	24,039	0	24,039	
租税公課支出	1,650	6,000	△ 4,350	印紙代
渉外費支出	20,000	40,000	△ 20,000	周年祝い金(亀岡JC・京丹後JC)
雑支出	566,067	868,976	△ 302,909	ネットバンキング使用料、JCパッチ、会員ネームタグ、会計士手数料、メールプロバイダ料、他
管理・運営予備費支	0	0	0	
③負担金支出	1,095,987	1,261,057	△ 165,070	
JCI負担金支出	82,212	98,332	△ 16,120	@1,612円×(48名+3名)
日本JC負担金支出	295,000	335,000	△ 40,000	
基本金支出	45,000	45,000	0	0会員数50名迄が30,000円 25名増す毎に15,000円を追加 ※期末会員数51名
付加金支出	250,000	290,000	△ 40,000	@5,000円×(48名+前期入会1名)+@2,500円×後期入会2名
近畿地区協議会負担	90,200	106,400	△ 16,200	
基本金支出	2,000	2,000	0	
付加金支出	88,200	104,400	△ 16,200	@1,800円×(48名+前期入会1名)+@0円×後期入会2名
京都ブロック協議会	380,000	436,000	△ 56,000	
基本金支出	30,000	30,000	0	
付加金支出	350,000	406,000	△ 56,000	@7,000円×(48名+前期入会1名)+@3,500円×後期入会2名
国際協力資金支出	93,075	111,325	△ 18,250	@1,825円×(48名+3名)
日本JC出向者負担	0	0	0	0受託者負担のため
WeBelieve購読料	147,500	174,000	△ 26,500	@3,000円×(48名+前期入会1名)+@250円×後期入会2名
京都会議録録料	8,000	0	8,000	
事業活動支出計	8,566,890	10,618,314	△ 2,051,424	
事業活動収支差額	△ 974,527	△ 451,814	△ 522,713	
科目	予算額	予算額	増減	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	4,750,000	4,750,000	0	
会員基本基金資産取崩収入	4,350,000	4,350,000	0	
周年事業引当資産取崩収入	0	0	0	
文化少年団基金取崩収入	400,000	400,000	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	4,750,000	4,750,000	0	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	4,300,000	4,300,000	0	
会員基本基金資産取得支出	0	0	0	
周年事業引当資産取得支出	500,000	500,000	0	
特別会計積立金	3,800,000	3,800,000	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	4,300,000	4,300,000	0	
投資活動収支差額	450,000	450,000	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	△ 524,527	△ 1,814	△ 526,341	
前期繰越収支差額	0	1,814	0	
次期繰越収支差額	△ 522,713	0	△ 522,713	

貸借対照表

2020年12月31日現在

(単位：円)

科 目	本年度 (2020.12)	前年度 (2019.12)	差額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	9,414	22,178	△ 12,764
普通預金	1,130,749	1,005,636	125,113
流動資産計	1,140,163	1,027,814	112,349
2. 固定資産			
特定資産			
会員基本基金定期預金	12,606,000	16,956,000	△ 4,350,000
周年事業積立目的定期預金	1,000,000	500,000	500,000
退職給付引当定期預金	1,267,000	1,158,500	108,500
文化少年団基金定期預金	1,220,173	1,620,173	△ 400,000
特別会計積立金	3,800,000	0	3,800,000
特定資産計	19,893,173	20,234,673	△ 341,500
固定資産計	19,893,173	20,234,673	△ 341,500
資 産 合 計	21,033,336	21,262,487	△ 229,151

科 目	本年度 (2020.12)	前年度 (2019.12)	差額
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	329,399	0	329,399
預り金	0	0	0
前受金	948,000	1,026,000	△ 78,000
流動負債計	1,277,399	1,026,000	251,399
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,267,000	1,158,500	108,500
固定負債計	1,267,000	1,158,500	108,500
負 債 合 計	2,544,399	2,184,500	359,899
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	18,488,937	19,077,987	△ 589,050
一般正味財産合計	18,488,937	19,077,987	△ 589,050
(うち特定資産への充当額)	(18,626,173)	(19,076,173)	450,000
正味財産合計	18,488,937	19,077,987	△ 589,050
負債・正味財産合計	21,033,336	21,262,487	△ 229,151

財産目録

2020年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,140,163		
現金	9,414		
普通預金	1,130,749		
京都銀行 長岡支店 No.825989	634,325		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0458502	477,845		
ゆうちょ銀行 No.14460-42856541	8,360		
京都中央農業協同組合 神足支店 No.0004312	10,219		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911759	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911760	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911771	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911782	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911793	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911806	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0911817	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0936718	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0992458	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.1002027	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.1002038	0		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.1024736	0		
流動資産合計		1,140,163	
2. 固定資産			
特定資産			
会員基本基金定期預金	12,606,000		
京都中央信用金庫 長岡支店 No.0008001	850,000		
京都中央農業協同組合 神足支店 No.06350556	3,650,000		
ゆうちょ銀行 No.54470-4693984(2口)	8,106,000		
周年事業積立目的定期預金	1,000,000		
京都銀行 長岡支店 No.1124732	1,000,000		
退職給付引当定期預金	1,267,000		
京都銀行 長岡支店 No.1124740	1,267,000		
文化少年団基金定期預金	1,220,173		
京都銀行 長岡支店 No.1124758	1,220,173		
特別会計積立金	3,800,000		
京都中央農業協同組合 大原野支店 No.16864577	3,800,000		
固定資産合計		19,893,173	
資産合計			21,033,336
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	329,399		
預り金	0		
源泉税預り金	0		
前受金	948,000		
2021年度正会員受取会費および入会金	948,000		
流動負債合計		1,277,399	
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,267,000		
固定負債合計		1,267,000	
負債合計			2,544,399
III 正味財産			18,488,937

正味財産増減計算書
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
I. 一般正味財産の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①特定資産運用益	963
特定資産運用益	963
②受取入会金	1,090,000
新入会員入会金	180,000
特別会員入会金	910,000
③受取会費	6,050,000
正会員	5,850,000
新入会員	200,000
④事業収益	0
文化少年団登録料収益	0
⑤受取補助金	0
⑥受取寄付金	100,000
⑦雑収益	351,400
受取利息	18
京都ブロック協議会受入収益	0
その他雑収益	351,382
経常収益計	7,592,363
(1) 経常費用	
①事業費	2,580,888
会場費	805,214
業務委託費	549,439
通信運搬費	147,144
消耗品費	89,368
諸謝金	490,047
保険料	16,000
旅費交通費	0
事業雑費	483,676
②管理費	4,890,015
会議費	128,835
給料手当	1,860,000
退職給付費用	108,500
福利厚生費	594,672
旅費交通費	95,040
通信・発送費	614,966
消耗品費	198,282
リース料	93,312
印刷製本費	39,830
貸借料	324,064
インフォメーション関係費	220,758
保険料支出	24,039
租税公課	1,650
渉外費支出	20,000
雑費	566,067
③負担金	1,095,987
JCI負担金	82,212
日本JC負担金	295,000
近畿地区協議会負担金	90,200
京都ブロック協議会負担金	380,000
国際協力資金支出	93,075
日本JC出向者負担金支出	0
WeBelieve購読料支出	147,500
京都会議登録料	8,000
経常費用計	8,566,890
当期経常増減額	△ 974,527
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減益	0
当期一般正味財産増減額	△ 974,527
一般正味財産期首残高	19,463,464
一般正味財産期末残高	18,488,937
II. 指定正味財産の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III. 正味財産期末残高	18,488,937

(監事の監査報告書謄本)

監 査 報 告 書

公益社団法人乙訓青年会議所
理事長 達城 英治 殿

令和 3年 1月 16日

公益社団法人乙訓青年会議所

監事 岩本 伸一



監事 田中 望麻



私たちは、公益社団法人乙訓青年会議所の令和 2年 1月 1日から令和 2年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を徴収し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

2020年度 公益社団法人乙訓青年会議所
会 議 構 成 員

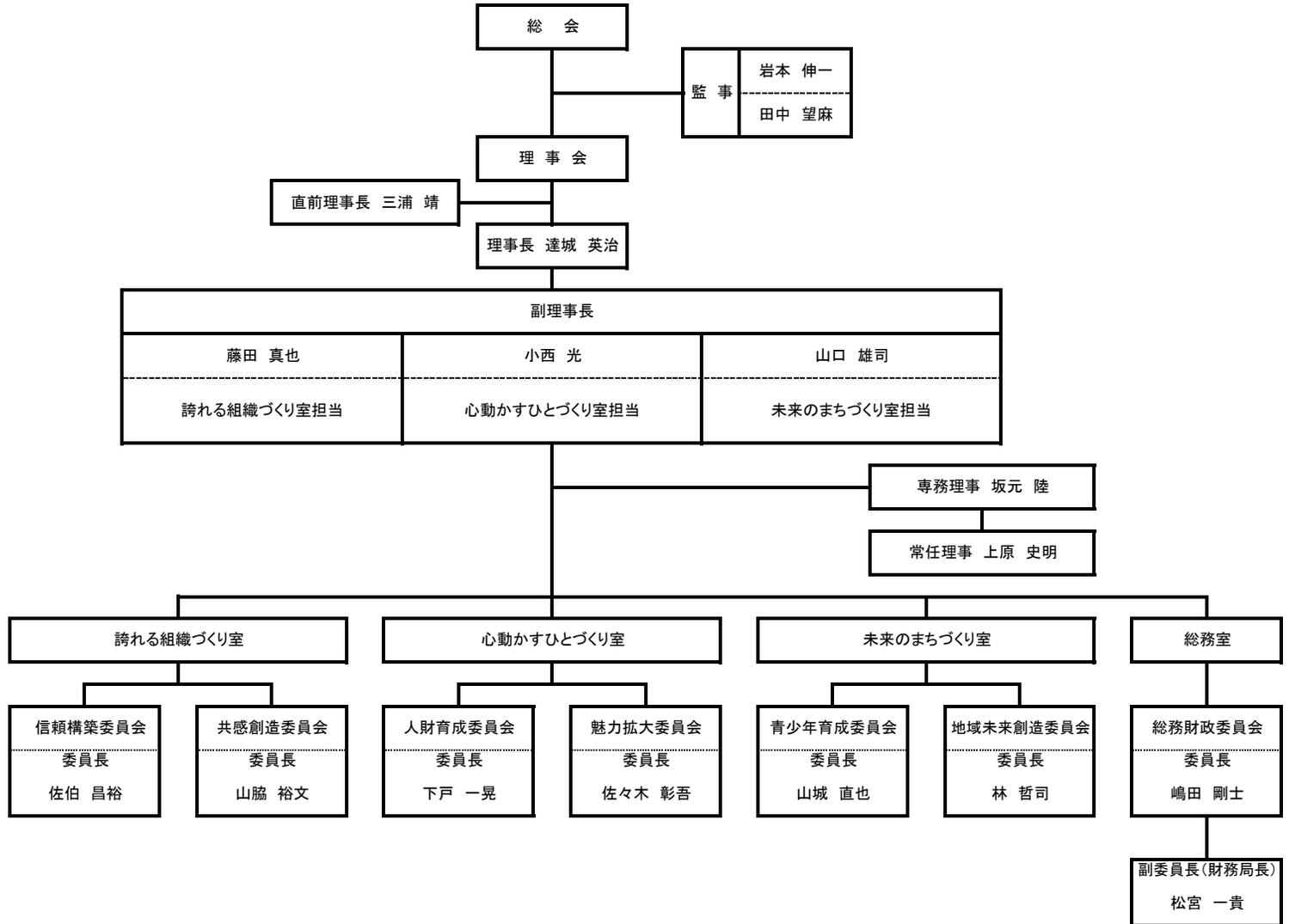
		理 事 会	正 副 理 事 長 会 議
理 事 長		達 城 英 治	○議長
副理事長		小 西 光	○
副理事長		山 口 雄 司	○
副理事長		藤 田 真 也	○
専務理事		坂 元 陸	○
常任理事		上 原 史 明	○ ▲
理 事	(人財育成委員会 委員長)	下 戸 一 晃	○ ▲
理 事	(信頼構築委員会 委員長)	佐 伯 昌 裕	○ ▲
理 事	(魅力拡大委員会 委員長)	佐々木 彰 吾	○ ▲
理 事	(総務財政委員会 委員長)	嶋 田 剛 士	○ ▼司会
理 事	(地域未来創造委員会 委員長)	林 哲 司	○ ▲
理 事	(青少年育成委員会 委員長)	山 城 直 也	○ ▲
理 事	(共感創造委員会 委員長)	山 脇 裕 文	○ ▲
理 事	(総務財政委員会 副委員長)	松 宮 一 貴	○司会 ▼
監 事		岩 本 伸 一	□ □
監 事		田 中 望 麻	□ □
直前理事長		三 浦 靖	□ □

※公益社団法人乙訓青年会議所定款第17条第3項の定める副理事長の職務代行順位は上段よりとする。

- ：構成員
 - ：常時出席の上、発言できる
 - ▼：常時オブザーブ
 - ▲：議長の要請を受けて出席する
- 理事会議事録：総務委員長

2020年度 公益社団法人乙訓青年会議所

組織図



2020年度 公益社団法人乙訓青年会議所 出向者一覧

【公益社団法人日本青年会議所】

SDGs推進会議	副議長	田中 望麻
SDGs推進会議	議員	河地 佑紀
SDGs推進会議	議員	高橋 英樹
SDGs推進会議	議員	谷 政憲
SDGs推進会議	議員	田中 炳穂
SDGs推進会議	議員	平木 竜馬
地域ビジョン確立委員会	会計幹事	岩本 伸一

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会】

イノベーション創出委員会	委員長	上原 史明
イノベーション創出委員会	総括幹事	姜 星輝
イノベーション創出委員会	副委員長	小林 大希
イノベーション創出委員会	委員	島本 崇弘
地域社会貢献構築委員会	副委員長	山口 雄司
地域社会貢献構築委員会	小幹事	藤田 真也
地域社会貢献構築委員会	委員	西條 利洋
地域社会貢献構築委員会	委員	西田 敬一

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会】

国際貢献委員会	副会長	小西 光
JCMムーブメント創造委員会	委員	松宮 一貴
JCMムーブメント創造委員会	副委員長	富田 達也
JCMムーブメント創造委員会	委員	岡田 沙也
JCMムーブメント創造委員会	委員	河地 佑紀
JCMムーブメント創造委員会	委員	田中 炳穂
新時代のリーダー育成委員会	副委員長	中野 翔太
新時代のリーダー育成委員会	委員	河合 良忠
新時代のリーダー育成委員会	委員	田村 直毅
新時代のリーダー育成委員会	委員	菜島 拓朗
ブロック大会運営委員会	委員	村田 朋紀
ブロック大会運営委員会	委員	森 麻美
ブロック大会運営委員会	委員	飯野 晋

特別委員会

1 会員選考委員会

委員長 小西 光

副委員長 山口 雄司

副委員長 藤田 真也

委員 佐々木 彰吾

2 選挙管理委員会

委員長 坂元 陸

委員 石井 佑典

委員 平木 竜馬

委員 林 哲司

委員 山城 直也

委員 田村 直毅

2020年度 公益社団法人乙訓青年会議所 褒賞受賞者

●実質100%出席賞（15名） ※2020年12月10日最終

達城 英治 、 岩本 伸一 、 田中 望麻 、 小西 光 、 山口 雄司
藤田 真也 、 坂元 陸 、 上原 史明 、 下戸 一晃 、 佐伯 昌裕
嶋田 剛士 、 林 哲司 、 河合 良忠 、 田村 直毅 、 今井 政樹

●乙訓JCグランドスラム賞 該当者なし

●出向者特別賞 田中 望麻

●特別功労賞 坂元 陸

●最優秀新人賞 該当者なし

●優秀会員賞 中野 翔太

●最優秀会員賞 富田 達也